

官報

號外 昭和二十一年八月九日

○第九十四回 衆議院議事速記録第二十六號

昭和二十一年八月八日(木曜日)

午後一時五十八分開議

議事日程 第二十五號

昭和二十一年八月八日

午後一時開議

第一 林業會法案(政府提出)

第一讀會(前會の續)

第二 宗教的情操教育に關する決議案(地崎宇三郎君外五名提出)

〔朗讀ヲ省略シタ報告〕

一、政府カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル

恩給法の一部を改正する法律案

(以上八月六日提出)

一、昨七日貴族院ニ於テ本院カラ送付ノ次ノ政府提出案ヲ可決シタ旨、同院カラ通牒ヲ受領シタ

政府出資特別會計法外二十一法令の廢止等に關する法律案

一、議員カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル

宗教的情操教育に關する決議案

提出者

地崎宇三郎君 左藤 義詮君

海野 三朗君 井上 健吉君

大谷 登彌君 柏原 善則君

熊本市より山鹿町を經由大牟田市に至る電車敷設に關する建議案

提出者

宮村 又八君

(以上八月六日提出)

九州四國連絡鐵道速成に關する建議案

提出者

布 利秋君 岡田 勢一君

石原 登君 森 由己雄君

橋本 二郎君 原 東君

平野 八郎君 大橋 喜美君

藤本 虎喜君 松原 一彦君

福田 繁芳君

國際客誘致施設整備に關する建議案

提出者

布 利秋君

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

第八部選出豫算委員 水谷長三郎君

一、昨七日常任委員補選結果次ノ通り當選シタ

第七部選出

建議委員 中崎敏君(新妻イト君)

一、昨七日特別委員理事補選結果次ノ通り當選シタ

果次ノ通り當選シタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

大藏事務官 河野 通一

同 酒井 俊彦

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

第八部選出豫算委員 水谷長三郎君

一、昨七日常任委員補選結果次ノ通り當選シタ

第七部選出

建議委員 中崎敏君(新妻イト君)

一、昨七日特別委員理事補選結果次ノ通り當選シタ

果次ノ通り當選シタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

一、昨七日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

大藏事務官 河野 通一

同 酒井 俊彦

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

第八部選出豫算委員 水谷長三郎君

一、昨七日常任委員補選結果次ノ通り當選シタ

第七部選出

建議委員 中崎敏君(新妻イト君)

一、昨七日特別委員理事補選結果次ノ通り當選シタ

果次ノ通り當選シタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

一、昨七日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

大藏事務官 河野 通一

同 酒井 俊彦

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

第八部選出豫算委員 水谷長三郎君

一、昨七日常任委員補選結果次ノ通り當選シタ

第七部選出

建議委員 中崎敏君(新妻イト君)

一、昨七日特別委員理事補選結果次ノ通り當選シタ

果次ノ通り當選シタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

放出ノ許可ヲ得マシタ輸入食糧ノ總量ハ、小麦、小麥粉、米、雜穀等ヲ合シテ、米換算約三十一萬二千「トン」、即チ約二百六萬石デアリマシタ、全ク之ニ依リマシテ所謂中間端渡期ノ危機ハ救ハレタノデゴザイマス、而シテ今後尙ホ豫想セラレマスル食糧不足克服ノ爲ニハ、現ニ國內ニ於キマシテ馬鈴薯及ビ麥ノ供出ニ付キマシテ懸命ノ努力ヲ致シテ居リ、更ニ目前ノ甘藷及ビ新米ノ供給確保ニ付キマシテモ、各方面ノ協力ヲ得マシテ、適切ナル措置ヲ講ジタイ所存デアリマスルガ、而モ尙ホ萬已ムヲ得マセズ絕對的不足量ニ付キマシテハ、引續キ最高司令部ノ援助ヲ懇請致シタイト存ジテ居リマス

ガ、差當リ本八月分ノ不足補填ノ爲ニ十九萬五千「トン」、約百三十萬石ノ放出許可ヲ懇請中デアリマシテ、其ノ上旬分デアリマスル約四十二萬石ニ付キマシテハ、既ニ去ル三日許可ガアリマシテ、現ニ全國ノ二十三都道府縣ニ互リマシテ配給中デアリマス、殘餘ノモノニ付キマシテモ、中旬、下旬ノ別ニ其ノ都度許可ヲ得ラレル見込デアゾイマス、此處ニ重テ最高司令部ノ厚意ニ對シマシテ衷心感謝ノ意ヲ表シマスト共ニ、政府ニ於キマシテハ、國內施策ノ面ニ於キマシテモ、今後尙ホ一層ノ國民ノ協力ヲ得マシテ危機突破ノ爲ニ更ニ一段ノ努力ヲ著シ、覺悟ヲ新タニシテコトヲ深ク期スルヒ次第デアゾイマス、右御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(議員三君) 議事日程第一、林業會法案ノ第一讀會ヲ開キ、質疑ヲ繼續致シマス——林田哲雄君

第一 林業會法案(政府提出)

第一讀會(前會の續)

三九九

昭和二十一年八月九日

衆議院議事速記録第二十六號

第九十四回

帝國議會

大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

第八部選出豫算委員 水谷長三郎君

一、昨七日常任委員補選結果次ノ通り當選シタ

第七部選出

建議委員 中崎敏君(新妻イト君)

一、昨七日特別委員理事補選結果次ノ通り當選シタ

果次ノ通り當選シタ

所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)外二件委員

理事 八木佐太治君(飯島祐之君)

去六日理事辭任ニ付其ノ補闕

一、去六日次ノ通り特別委員ノ異動ガアツタ

食糧緊急措置令(承諾を求むる件)

委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

生活保護法案(政府提出)委員

藤任氏原 一郎君 關平野市太郎君

健吉君 關金子益太郎君

一、昨七日告示内閣總理大臣カラ次ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領シタ

大藏事務官 河野 通一

同 酒井 俊彦

第九十回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一、昨七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第六部選出豫算委員 岡田 勢一君

〔林田哲雄君發壇〕

○林田哲雄君 昨日本社會黨代表致シマシテ、聊カ林業會ノ性格ニ付キマシテ實シタイト存ゾルノデアリマス日本木材株式會社、地方木材株式會社ト、斯ウシテ木材株式會社ト云フモノガ官公署木材株式會社ノ集積トナリ、一ツノ實利會社ト致シマシテ、戰時中森林組合、木材生産者ヲ採ニシ、木材製材加工業者ヲ採取シテ來タコトハ、既ニ前御三方ノ同僚ニ依ツテ殆ド完膚ナキマデニ糾弾サレタコトデアリマス、私自身地本社ノ一從業員ヲ驅ヒラレタ身ヲ以テ實メタ體裁カラ告白申上デマシタモ、アノ木材株式會社ナルモノガ眞ノ木材ノ生産ノ増進ニ何等致ス所ガナイノミカ、ミスノ木材ノ生産ノ低下シタ、アツタト云フコトヲ我々業者ハ異口同音ニ痛歎シテ居ル所デアリマス、遑算ノ形ニ於テマシテ木材生産業者ノ父祖傳來ノ山ヲ採ニシマシ、又地木所屬各製材工場ヲ彈壓シ強壓致シマシテ、之ヲ採ニシ、サウシテ一實利會社ヲシテ是等ノ官公署ノ採山トモナシ、統制經濟ニ便シテ資本家ノ巨利ヲ貪ル所ノ態ト化シテ居タコトデアリマス、私ハ之ヲ痛返シテ申上ゲル必要ヲ考ヘマス、同僚諸君ノ完膚ナキマデノ糾弾ニ依リマシテ、政府當局ハ既ニ十分御國體ヲ持タレタコトと思フノデアリマスガ、「マカサー」元帥司令部ノ解散ノ命令ニ依リマシテ解散シタ筈ノ日本、地木ガ、今日木材生産組合トシテ再組織サレシ、アルト云フ時、林業會法ハ林業會成員ノ中ニ林業組合ナルモノヲ入レテ居ルコト云フコトハ、再ビ是等官公署、資本家ノ傀儡ヲ此ノ林業會ニ潛入セシメル機會ヲ與ヘテ居ルモノデハナイカト云フコトヲ

農林大臣ニ嚴密ニ質シテ置キタイと思フノデアリマス

私は是等地木、日本ノ暴露ハ同僚諸君ニ譲リマシテ、林業會ノ建設のナル内容ニ付キマシテ政府ノ所信其ノ性格ヲ明確ニ致シタイと思フノデアリマスルガ、由來林業、農業、水産業ハ一體不可分ノ關係ニ立ツテ居ルモノデアリマシテ、農民ハ直チニ漁民デアリ、林業木材生産業者デアリ、此ノ意味ニ於テマシテ、林業會ノ内容モ一般ノ農村經濟ト密接不可分ナル關係ニ於テ之ヲ考究シナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、我が國ノ農村經濟ハ終戰後、神武天皇建國當時ノ大八洲ニ八千萬人ノ大和民族ガ迫込マシマシテ、サウシテ此ノ惠マレザル國內資源ニ依ツテ八千萬民族ガ如何ニシテテモ強キ拔カケレバナラナイ立場ニ迫込マレテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於テマシテ我々ハ、此ノ貧弱ナル國內資源ヲ以テ、國民生活ノ確保ノ爲ニ火ノ玉トナツテ戦ヒ、又戰テ我が國ガ國際經濟場裡ニ立チマシテ、其ノ強靱性ヲ確立スルコト云フコトガ喫緊ノ急務デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、其ノ刻下ノ國民ノ食糧危機ヲ匡救シ、サウシテ國民生活ヲ安定シ、續イテ來ルべき所ノ、即チ今日ノ非常經濟時局ヲ打破致シマシタ後ニ、豫想外ニ早ク來ルべきコトヲ豫感サレル所ノ我が國ノ恐るべき農業恐慌——關稅ノ障礙ハ撤廢サレマシテ、諸外國ノ食糧ヲ主トスル所ノ物資ノ我が國ヘノ津浪、茲ニ我が國ノ經濟ハ非常經濟時局ノ反動ト、此ノ自由貿易ニ依ル所ノ恐ろしい農業恐慌、一大轉換期ニ立ツテ居ルコト云フコトヲ考ヘマスル時ニ、我が國ノ農林水産業ハ今日ノ此ノ國民

ノ食糧生活ノ危機ヲ匡救スルト共、此ノ來ルべき恐慌ニ對シテ強靱ナル立體的ナル經濟政策ヲ確立スルコト云フコトガ今日ノ重大ナル責任デアルト考ヘルモノデアリマス、此ノ意味ニ於テマシテ今後ノ農林水産業ハ緊密ナル綜合的關係ニ立チマシテ、所謂立體的、社會主義的ナル建設ニ邁進シナケレバナラナイ、從來ノ素材ヲ生産スルモノ、農林水産業ハ、是等ノ自家生産ノ素材ヲ自己ノ手ニ依ツテ加工シ、之ヲ食糧化シ、未利用資源ヲ開發シテ國民食糧ニ充當シ、又保存食糧ヲ生産シ、或ハ其ノ他ノ農產物或ハ林産加工ニ依リマシテ、外貨獲得、或ハ賠償金、國際貸借、信用確保ノ意味ニ於ケル所ノ國際經濟ニ打ツテ出ルト云フ態勢ヲ強ヘルべき意味ニ於テマシテ、今後ノ農林水産業ハ一體トナツテ其ノ産業ノ高度化ト、サウシテ農村ノ工業化ニ依ル所ノ農村經濟ノ高度化ト云フコトガ要求サレテ居ルノデアリマス、此ノ時我々國ノ農林水産業ハ緊密ナル關係ノ下ニ、サウシテ高度ノ産業ヘト進出スルコトヲ要求サレテ居ル、此ノ意味ニ於テマシテ、本林業會法モ——今日農林省ハ農業協同組合法ヲ考究サレシ、アルト云フコトヲホツテ居リマスルガ、是ト同時ニ水産協同組合法並ニ林業協同組合法トシテ綜合的協同組合立法ヲシテハ、斷ジテ此ノ立體的、社會主義的建設ヲ見ルコトガ出來ナイト思フノデアリ、隨テ林業會法ハ此ノ綜合的協同組合ノ立法ト並行スルト共ニ、林業會ハ協同組合ノ形ニ於ケル所ノ民主的、社會主義的ナル建設デアリシテハ、斷ジテ意味ヲ持タナイモノト私ハ確信スルノデアリマス、此ノ意味ニ於テマシテ此ノ林業會法、林業會ナ

ルモノハ、農林大臣ノ企圖セラレテ居ル所ハ如何デアリマスルカ、其ノ點ノ御所見ヲ明カニ致シタイと思フノデアリマス、又必然的ニサウシテ社會主義的、立體的ナル協同組合ノ形ニ於ケル所ノ林業會——農林經濟ハ、所謂其ノ生産者デアリ從業者デアリ人の資源ニ於ケル所ノ業務ト生活ノ安定確保ト云フコトハ、是コソ其ノ生産意欲ノ昂揚ノ絕對條件デアリマシテ、此ノコトハ我々ガ農村ノ方面ニ於テマシテ叫ビツ、アル、先ヅ凡ユル部面ニ於ケル所ノ稅制、戰時中戰爭ニ勝タシガ爲ニ軍閥ノ軍政ノ下、獸々トシテ之ヲ認メテ來タ所ノ今日ノ大衆課稅ノ租稅體系ヲ根本的ニ變シ、先ヅ農林業ニ最も必要ナ地租、家屋稅、或ハ今日全國ニ澎湃トシテ反對ヲ叫バレテ居リマス所ノアノ勸業所得稅、或ハ事業所得稅、或ハ其ノ他ノ大衆課稅ニ於ケル所ノ消費稅、斯ウシタ大衆課稅ノ租稅體制ヲ根本的ニ變シ意欲ガアルカナイカ、是ナクシテ今日ノ増產意欲ヲ期待スルコトハ、木ニ蠶ツテ魚ヲ求メルモノト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ決意ヲ伺ヒタイと思フノデアリマス

尙ホ進ンデ農林業ノ密接不離ナル山村ニ於テマシテハ最も痛切ニ感ジツ、アルコトデアリマスガ、今日ノ土地問題、最も零細農地デアリ、零細地主デアアル所ノ耕地反別ノ少イ山村ニ於ケル所ノ農村問題ハ、一層窮迫セルモノガアルノデアリマシテ、山村ノ農林業經濟ヲ確立スル爲ニハ、何ヨリモ先ヅ土地問題ノ解決、而モ我々ハ林業ニ依ル所ノ林産物ノ増產ヲ計畫スルト同時ニ、有效ニシテ而モ林業ニ適セザル所ノ山村ニ對シマシテハ、是ガ計實的ナ施策

案ニ依リマシテ、著々トシテ食糧増產ノ爲ノ開墾ヲ實施シナケレバナラナイ、戰時中ニ於テマシテ開墾或ハ陰伐リト云フコトガ獎勵サレマシタケレドモ、我々ハ忠實ニヤツタ、併シナガラ政府ノ御膝元ノ關東ニ我々參リマシテ、今尙ホ陰伐リト云フコトガ殆ンド見ルコトモ出來ナケレバ、我々ガ街道ノ名木或ハ神社佛閣ノ名木モ伐採シテ戰場ニ送ツタモノモ尙ラズ、此ノ膝元ニ於テ到ル處ニ街道ノ名木、神社佛閣ノ名木ガ殘存シテ居ルト云フコトハ、政府ノ認識如何ヲ我々ハ疑フモノデアリマス、斯ウシタ意味ニ於テマシテ、絕對的デアリ、重點的ナル山村ノ植林方策、サウシテ田畑ノ開墾方策ト云フモノヲ樹立スル、農民ガ開墾シタイ意欲ヲ持ツテ居リマシテモ、而モソレガ林業上何等生産的デナイ土地デアリナガラ、地主ノ所有權ノ絕對性ノ爲ニ、之ヲ開墾スルコトモ出來ナケレバ、又反面ニ於テマシテ戰時中ニ於ケル所ノ軍用材ノ供出、或ハ松根油ノ採取ニ依ル所ノ伐採、濫掘ニ依リマシテ、アノ悲慘ナル全國ノ風水害ヲ見ナガラ、ソレニ對シテ何等尙ホ徹底セル治水、修築、或ハ徹底的ナル植林ノ施策計畫ヲ見ナイト云フコトヲ我々ハ遺憾ト存ゾルノデアリマシテ、是等ノ山村ニ於ケル所ノ土地問題ノ解決コソハ——今農地制度ノ改革法律案ガ上程ヲ見ルト云フコトヲ承ツテ居リマスルガ、是ガ單ニ農地ノミナラズ、山林ニ通ズル所ノ徹底セル全面的ナル土地ノ開放ヲ斷平ヤルニアラザレバ、農林業ノ増進ニ重大ナル支障ヲ來シツ、アルト云フ事實ニ對シマシテ、農林大臣ハ如何ニ之ヲ御覽ニナツテ居ルカト云フコトヲ質シタイと思フノデアリマス

尙ホ木材生産ニ從業致シマス所ノ山村ノ伐出業者、山林ノ勞働者ハ同時ニ農民デアリ、而モ是等ノ農民ハ二反百姓、三反百姓ト云フ零細農業ヲ經營シナガタリ、其ノ生産ニ依ツテ供出モシナレバナラナイ、或ハ年貢モ納メナクシテバナラナイ、保米米欲シ、勘定合ツテ錢足ラズ、而モ田畑ハ女子供ニ任セテ置イテ、サウシテ男ハ山林伐出シニ務メナレバ一家ノ經濟モ立ツテ行クコトハ出來ナイ、伐出業者ノ賃金ハ今日平均致シマシテ、二十圓至三十圓ヲ居ルコト云フ事實ニ鑑ミマシテ、砂ノ自由業者デアリ、雨ガ降レバ仕事ノ出來ナイ屋外業者デアル山林伐出業者ノ賃金ノ値上ゲ、生活ノ安定コト又根本的ナル重大問題デアル(拍手)同時ニ山村ニ於ケル所ノ食糧配給、是ガ一元デナイ所ニ依ルモノデアリマ

スガ、山村民ノ食糧ハ、實ニ我々ノ見ルニ忍ビナイヒドイ物ヲ食ベテ居ルコト云フコトヲ御認識ヒタイト思フノデアリマス、是ガ食糧ノ廣範圍ナル一元の配給ニ依リマシテ、セメテ山村ニモ麥、米ノ配給ヲモツト増額シテヤツテ欲シ、又御承知ノ如ク山ノ仕事ニ出マシテ、炭ガ引揚リ、木ニ引揚リ、何等ノ料品ノ配給ノナイ今日、伐出業者ハ從來ノ手持チノ衣料品ヲ持出シテ仕事ニ行カレバナラナイ、イッソ今日ノ高物價ノ下ニ於ケル所ノ衣料品ヲ破イテシマフヨリモ、仕事ニ行カナイデ居ル方ガサマシト云フ此ノ窮狀ヲ御認識下サルナラバ、何トカ林業伐出業者ニ對シテ衣料品ノ特配ノ途ハナイモノカ(ヒヤ)或ハ今日食糧ノ問題ニ國民ハ困ツテ居リマスガ、海岸ニ遠イ所ノ山村ニ於キマシテハ、農業會ガ「ドラム」

罐ニ海水ヲ入レテ「トラック」デ運シテ、農業會デ共同製鹽ヲヤツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、其ノ反面ニ於キマシテハ、海岸ヲ持ツ所ノ町村ニ於テハ、或ハ終戦後陸軍用地ノ開放ニ依リ財務局ノ指示ニ依リマシテ、三井、三菱等、其ノ他財閥ノ自家製鹽ノ新設、或ハ地方有志資本家ノ營利的ナル自家製鹽、是ガ莫大ナル補助金ヲ貰ヒマシテ自家製鹽ニ從事シテ居リマスルガ、恐ラタ之ヲ正當ノ配給「ルー」トニ流シヨリモ罷ニ洗シ、サウシテ鹽ヲ流レテ、海岸ヲ持タナイ、自家製鹽ヲスルコトノ出來ナイ方面ニ於テハ、鹽デナレバ食糧ヲ手ニ入レルコトガ出來ナイ云フ結果ヲ來スコトハ明カナ事實デアリマス、今此ノ食糧ト食鹽、最重要ナル生活必需品ヲ上ニ於テ、武田信玄ト上杉謙信ノ實情ヲ現出スルデアラウト云フコトヲ私ハ痛感致シマス時、此ノ自家製鹽事業ヲ資本家ノ營利ニ任サナイデ、非營利的ナル農業會ノ一元のナル自家製鹽、サウシテ海岸ヲ持ツ所ノ町村ト燃料ト「リンク」ニ依ツテ、公平ナル自家製鹽ノ配給ヲ今日ニ於テ樹立シナケレバ重大ナル問題ヲ惹起スルト思フノデアリマス、或ハ木會其ノ他ノ官林、御料林ノ多イ所ニ於キマシテハ、木材伐出業者デアリ、同時ニ農民デアル所ノ住民ガ總テノ是等ノ官林或ハ御料林ニ燃料ヲ取リ行クコトモ出來ナイノデアツテ、毎年村カラ一人或ハ數名ノ刑法上ノ犧牲者ヲ出シテ、團體的ニ職考ニ出掛ケルト云フ窮狀ニアルコトヲ考ヘマス時、是等山林ニ對スル入會權ヲ確保スルト云フコトハ、同時ニ一石二鳥デアツテ、サウシタ山林ノ造成ニモナルト云フコトヲ我々ハ考ヘルノデア

リマス、是等ノ木材生産從業者ノ生活ノ安定、サウシテ其ノ民主的ナル生産體制ト、之ヲ内容トスル所ノ綜合的ナ協同組合組織ニ依リ所ノ林業組織コソガ、眞ノ山林政策ノ大道デアルト確信スルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ農林大臣ノ所見ヲ明カニ承リタイト思フノデアリマス

以上ノ意味ニ於キマシテ、今回立案サレマシタ所ノ林業會ハ必然的ニ從來ノ日本、地木ヲ徹底的ニ排除スルコト、木材生産者タル森林組合ノ一元統制ノ下ニ製材工場ヲ直營シ、製材工場ノ從業者、木材生産者、木材伐出業者、之ニ木材消費者ノ代表者ヲ加ヘタル所ノ委員會ニ依ツテ運營スベキデアルト私ハ確信スルモノデアリマス、即チ木材生産者ヲ中心トスル生産加工、配給ハ一貫作業ニ依リ一元統制、茲ニ於テノ森林業會ハ眞ニ民主的ナル生産增強ノ軌道ニ乘ルト云フコトヲ私ハ確信スルノデアリマシテ、斯ウシタ内容ニ付テ本法案ハ如何ナル御意圖ヲ包藏シテ居ラレムカト云フコトヲ、其ノ構成分子ニ於テ明カニシテ戴キタイノデアリマス

最後ニ斯ウシタ一元統制下ニ於ケル林業ハ、必然的ニ大土地所有ニ依リ一元の專制ト云フコトガ考慮サレノデアリマシテ、之ニ對シテハ少ナクモ二十町歩以上ノ大山林所有ニ對シテハ不適正ト認メ、開放サセ、先ヅ皇室ノ御料林ハ開放シ、國有林ヲ開放シ、二十町歩以上ノ大山林所有ヲ開放シテ、木材生産協同組合ノ現物出資トシテ、木材生産協同組合ノ管理下ニアルベキ體制ヲ執ルベキモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、以上ノ數點ニ付テ農林大臣ノ所見ヲ明カニシタイト思フノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス(拍手)

(國務大臣和田博雄君登壇)

○國務大臣和田博雄君登壇

御質問ニ御答ヘ致シマス、此ノ林業會法案ハ依然トシテ日本社、地木社ノ再現デアツテ、官僚統制ノ再現デハナイカト云フ御質問デアリマスガ、其ノ點ニ關シマシテハ、先般本法案ノ提案理由ニ於テ私ガ説明致シマシタヤウニ、此ノ法案ハ森林所有者ノ組合デアル森林組合ト、林産物ノ生産者デアル林産組合トノ協同ニ依リマシテ、自主的ニ統制シテ行クコト云フノデアリマシテ、決シテ日本社、地木社並ニ官僚統制ノ再現デハナイト云フコトヲ御諒察願ヒタイノデアリマス

第二點ノ山村漁村ノ經濟ノ高度化ノ問題デアリマスガ、是ハ御説ノヤウニ、日本ニ於キマシテ山村ト云ヒマスモノハ、一方ニ於テハ農業ヲ行ヒ、一方ニ於テハ山林ノ勞働ニ從事シテ其ノ生計ヲ立テ居ル人達ガ多イノデアリマス、此ノ山村經濟ノ高度化ト云フコトヲ、山林ト云フ方カラ眺メマスナラバ、山林ノ包藏スル資源ヲ科學的ニ開發致シマシテ、ソコニ從事シテ居ル人ノ經濟ヲ豐富ナラシムルト云フコトガ必要デアリマス、此ノ科學的ナ開發ノ點ニ付テハ、例ハ酵母菌ニ依ル木材ノ蛋白質化ト云ツタ問題、其ノ他推茸ノ生産、色々ナ點ニ付テ科學ノ技術ヲ採入レマシテ十分ニ資源ノ開發ヲ圖ツテ居ル次第デアリマス

次ニ林産組合ハ同時ニ林業ニ從事シテ居ル勞働者ヲ含メテ之ヲ構成スベキデハナイカト云フ御意思ノヤウデアリマシタ、御承知ノヤウニ日本ノ林業勞働者ハ、半分ハ農業ニ從事シテ、其

ノ片手間ニ副業トシテ山林勞働ニ從事シテ居リマス、其ノ他ノ者ガ移動的ニ專業のニ林業ノ勞働ニ從事シテ居リマス、隨テ之ヲ專業ノ林業勞働者ニ付テ地區的ニ把握スルコトハ中々困難デアリマス、隨テ縣ナラ縣ト云フモノニ大キク鑑メマシテ、ソレ等ノ者ノ勞賃其ノ他ノ點ニ付テ十分意見ガ述べラレルヤウナコトヲ考ヘルコトガ必要デアリマス、此ノ林業會ノ組織ニ於テハ一應勞働者ハ組織員ニハ入レテ居リマセヌ、併シ地方ニ於キマシテ林業會ノ構成トシテソコニ特別議員ノ制度ガアリマスノデ、ソレ等ノモノニ是等勞働者ノ代表者ヲ特別議員ニ選ブコトモ一方法カト考ヘマスガ、ソレ等ノ點ハ十分今後研究致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

最後ニ林野ノ所有ノ形態デアリマスガ、山林ハ二ツニ分ケテ考ヘナケレバナラナイト思ヒマス、一ツハ農村ノ所謂山ト云フカ、農村ノ近クノ山デアリマス、一ツハ農村カラ離レタ大キナ山デアリマス、農村ニ近接シテ居ル所謂里山ニ於テハ、言フマデモナク其ノ近接ノ人達ノ利益ヲ考ヘルコトハ最も必要デゴザイマスルデ、是等ノモノニ付キマシテハ、或ハ農村ノ燃料ノ資源デアリマスルカ、木工ノ材料デアリマスルカ、其ノ他肥料ノ資源、家畜ノ飼料ト云フヤウニ、農業經濟ト密接ニ結付イタ點ガ多イノデアリマスノデ、ソレ等ノ觀點カラ是等ノモノノ所有ト云フコトニ付テハ、或ハ之ヲ小所有ニシ、或ハ部落ノ共同ニスルト云フコトガ考ヘラレト思フノデアリマス、併シ一面ニ於キマシテ多クノ奥山ハ治水、治山ト云ヒマスガ、水ヲ治メ其ノ他國土保安ノ上ニ非常ニ重要ナ

關係ヲ持ツテ居ルノデアリマシテハ、是等ノモノニ付キマシテハ、小サク分々タ所有ノ形態ト云フモノハ到底經營シテ行クコトガ出來ナイノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノモノニ付キマシテハ、寧ロ多クノ資本ヲソコニ要スルノデアリマス、又公ノ利益ニ關係スル所ガ非常ニ多イノデアリマス、ノデ、ヤハリ國家ノ見地カラ之ヲ統制シテ行クコトガ私ハ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○林田哲雄君 何レ委員會ニ於テ詳細ハ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○議長(議員詮三君) 香川兼吉君

〔香川兼吉君登壇〕

○香川兼吉君 我ハ協同民主黨ヲ代表致シマシテ、今御提案ニ相成リマシタル林業會法案ニ付キマシテ若干ノ質疑ヲ致サントスルモノデアリマス

先ツ私ハ此ノ場合議長ニ質シテ戴キタイ點ハ、先日ノ本會議ニモ、更ニ本日ノ本會議ニ於キマシテモ總理大臣ノ御出席アリマセス、私ハ先日通告ヲ致シタルデアリマスガ、成程色々ノ事情ガアリマセウ、併シナガラ苟クモ現在ノ森林事業ナルモノハ、先日モ平野議員ニ依ツテ御話ガアリマシタガ、社會ノ利源ニシテ、所謂國土ノ大本デアリマス、而シテ國土ノ表徴アルト共ニ、民族ヲ哺ム實ニ重大ナル意義ヲ持ツテ居ル問題デアリマス(拍手)然ルニ政府自ラガ輕視セラレテ居ル云フコトハ甚ダ遺憾アル、私ハ此ノ議場ヲ通サレマシテ、總理大臣ガ如何ナル理由ヲ以テ御出席ガナイカ、宜シク御辭明ヲ要求スルモノデアリマス

先ツ野頭ニ當リマシテ御伺ヒ致シテ置キタイ點、我ガ國ノ森林問題ニ對シマシテ、國際資源管理ノ聲ガアル

ガ、此ノ點ハドウカト云フコトヲ私ハ總理ニ伺ヒタイノデアリマス、敗戦日本今後ノ森林資源ハ、日本政府獨自ノ施策ヲ取扱ハレルモノト思ハレナク、世界五十箇國ノ資源ニ付キマシテ管理企畫スル國際資源管理局ニ於テ最後ノ施策ヲ決定スルニアラズヤト云フ聲ヲ仄聞致シテ居ルノデアリマス、是ハ我ガ國勢ノ振興上並ニ森林行政確立上ニ重大ナル問題デアリマス、此ノ場合若シ總理大臣ガ居ラレバ、副總理ノ方ニ於テ是等ノ見通シ等モ、承ハルコトガ出來ルナラバ洵ニ幸ヒトスルモノデアリマス

次ニ御伺ヒ申上ゲタイ點ハ、日本、地木ノ解體ニ際シマシテ政府ガ御執リニナツテ居ル處置ニ付テ少シク御尋ネヲ申上ゲタイ、政府、並ニ財閥ノ解體ニ當リマシテ、御承知ノ如ク直ニ管理委員會ヲ設ケラレマシテ、之ヲ管理ニ付サレマシタ、然ルニ今回日本、地木ニ對シマシテハ、何等之ニ關與スルコトナク放任シテ置カレテ居ルト云フ點デアリマス、凡ソ戰時立法中ニ於キマシテ、所謂惡法ノ標本トサレタル木統制法ノ下ニ割據シマシテ、而モ獨善デアリ、横暴ノ限リヲ盡シタル日木、地木デアリマス、而モ多大ナル「トシネル」料ヲ取り、社會ノ非難ガ此ノ一點ニ集マツテ、而モ日本、地木ヲ排撃致シテ居ツタコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、戰時官僚統制ノ故ヲ以テマシテ、即チ「マッカーサー」ノ指示ニ依リマシテ是ガ解體ヲ命ゼラレ、而モ六月二十六日政府ガ之ニ解散命令ヲ出シテ居ル、然ルニ其ノ後ニ於テ是等ノ會社ハ無責任ニモ其ノ儘ニ置カレテ居ルト云フノデアリマスガ、私ノ間ハントスル所ノ理由ハ何處ニアル

カト申シマスルト、實ハ解散ヲ命ゼラレタル是等ノ地木、日本ガ「アノ昨年ノ八月十五日ノ終戰ノ物語」戰イタル當時ニ於ケル軍ノ混亂セル醜行其ノモノノ行爲ガ「軍ノ一部ノ醜行其ノモノノ行爲ガ」地木、日本ノ現在ノ會社其ノモノノ行ハレテ居ルト云フ事實ヲ開イテ居ルノデアリマス(拍手)是ハ先日ノ本會議ニ於キマシテ司法大臣ハ、地木、日本ノ不正問題ハ耳ニ致シテ致ルコト云フコトヲ言明致シテ居ル點ニ於テモ明カデアリマス、私ハ是等ノ問題ヲ何ガ故ニ政府ガ無關心ニ而モ放任セラレテ居ツタカト云フ——凡ソ財閥雖モ大小ニハ變リハアリマセス、大財閥ハ管理委員會ニ付シ、地木日本ト稱スルケレドモ、是等ハ即チ官僚統制ノ下ノ眞ニ財閥ニ比スベキ所ノ存在價值ガアルモノデアリマス、何故ニ此ノ會社ニ對シテ放任セラレテ居ツタカ、ソレガ爲ニ一部分ノ者ガ即チ資本ノ逃避ヲヤルトルカ、或ハ財産ノ何モノカラ云々スルトカ云フ醜行ガ行ハレテ居ルト云フ結果ハ、一體誰ガドウ云フ損失ニ相成ルノデアリマセカ、大衆ノ迷惑ハ此ノ上モアリマセス、斯クノ如キ狀況ヲ現出セシメタト云フコトハ、即チ政府ノ怠慢アルノデハナイカ、宜シク此ノ管理ニ付セザル理由ヲ明カニシ、而シテ今後此ノ會社ニ對スル所ノ十分ナル監視ヲシ、而モ整理ニ對シテハ明確ニ致シマシテ、此ノ狀況ヲ國民ニ御覽ヘテ願ヒタイ(拍手)是ハ取りモ直サズ、即チ一面ニ於テ「マッカーサー」ニ對スル所ノ日本政府ノ忠實ナル所以デアルト思フ、願ハクハ此ノ點ニ付テ明確ナル辯明ヲ要求スルモノデアリマス

次ニ第三點デアリマス、今回ノ林業會法案ノ内容ニ付キマシテ檢討ヲ致シタルデアリマスガ、私ハ限リナキ失望ト不安ヲ感ゼザルヲ得ナカタノデアリマス、何トナレバ森林ノ根本施策ニ於ケル綜合性ナク、且ツ推進力ニ多大ナル缺陷ガアリマシテ、此ノ法案ヲ以テスレバ眞ニ百年ノ大計ヲ誤ルコトヲ懼レル者デアリマス(拍手)一昨日ノ本會議、更ニ只今ノ御話ニ依リマシテモ、實ニ此ノ林業會法案ノ内容ニ付テ非常ナル不安ヲ持ツノデアリマス、私ハ之ヲ率直ニ申上ゲマスナラバ、本法案ハ所謂解體致シテ居リマス、日本、地木ノ援助救済デアルト共ニ、正ニ林業會社ノ救済、更ニ木材ニ關係スル業界ノ救済法案ナリト指摘シテモ過デナイノデアリマス、此ノ點ハ農林大臣ハ能ク御取次ヲ願ツテ置キタイ、以下私ハ之ニ付キマシテ前門ノ虎ヲ防イダガ後門ノ狼ノ恐ロシイト云フコトニ付テ、十分本案ニ解剖「メス」ヲ入レテ批判ヲ加ヘ、當局ノ反省ヲ求メントスルモノデアリマス

第一ハ農相ハ御説明ニ於キマシテ、本案ハ森林ノ維持造成ガ出來ルト強調サレテ居リマス、果シテ御説ノ如ク維持造成ノ完璧ガ期セラレルモノデアリカ、私ハ非常ニ疑問ト致シテ居ルノデアリマス、先ツ本案ノ構成分子デアリマス所ノ一方ハ、即チ森林法ニ基ク森林組合デアリマス、森林組合ハ御承知ノ如ク追補責任デアリマス組合デアリマシテ、機動性ガ乏シク且ツ強制力ガ至ツテ微弱デアリマス、且ツ施業案ノ實施ニ對シテモ如何ナル成績ヲ以テ今日ナサレテ居ルカト云フコトハ此處ニ説明スルマデモアリマセス、而モ是等ノ森林組合ヲ維持造成ヲ期待シ、而モ森林ノ培養ニ資スルコトガ出來ル

ト云フコトハ私ハ非常ニ疑問ト致スノデアリマス、特ニ今日ノ森林組合ニ對シテ何等ノ機動性ヲ持タセズ、強制力ヲ持タセズシテ、而シテ今日林業會ノ一構成分子トシテ置カレタト云フコトハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、ソコデ此ノ一方ニ於キマス林業組合デアリマスガ、是ハ即チ官僚統制タル遺物ノ今尙ホ在スル企業許可令ノ下ニ、木材、製材並ニ企業資本家ヲ取入レマシテ、而モ其ノ半面ニ於テ、先程申シマシタ面セル日本、地木社ノ殘黨ガ之ニ加ハラントスルガ如キ情勢下ニアルノデアリマス、而モ是ハ眞ニ構成スル其ノ者ガ先ツ以テ純眞ナル木材業者ノ即チ塊リデアリマス、而シテ林業ニ携ハル者ト雖モ、企業許可ガアリマスガ故ニ、是等ノ事業ヲスル者モ之ニ加ハルコトガ出來得ナイ一ツノ戰時官僚統制ノ遺物ガ、二殘ツテ居ル、是ガ即チ今日ノ林產組合ノ正體デアリデアリマス、第三ハ森林組合ハ農民層デアルト共ニ、林產組合ハ先程モ申スヤウニ商人ノ結集デアリマス、昔カラ農民、商人ト云フモノニ付キマシテハ是ハ中々難カシイ經濟的ノ觀點ヲ具ニ致シマシテ、所謂利害ヲ異ニシテ參ツタノデアリマス、此ノ一方ノ農民層ト、一方ノ商工業ト云フモノヲガツチリト組ンデ果シテ此ノ法案ガヤツテ行ケルカドウカト云フ點ハ非常ナル疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、第四ハ、森林行政中ニ於テ重大ナル關係ヲ有スル國策中ノ國策ト言ハレテ居リマス新炭ト云フモノヲ除外ナサレタト云フコトハドウ云フ譯カ、新炭ト云フモノヲ除外シテ、而モ新炭ハ戰時中、否戰後ノ今日ニ於キマシテモ、一年ノ需要量ニ僅萬石ヲ濟サウト云フ、森林行政ニ於テ

ハ實ニ重大ナル所ノ問題デアリマス、此ノ新案ト云フモノヲ除外セラレタル原因ハ何處ニアルカ、私ハ此ノ新案ヲ伴ハザル所ノ林業政策ト云フモノハ、今後推進ヲ致シテ參ル上ニ於テ實ニ重大ナル障礙ニ乘ルモノデアリマシテ、是非トモハ共ニ進ンデ行カナケレバナラスモノデアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル所ノ理由ト今後ノ方針ヲ付テ承リタイノデアリマス、更ニ森林資源ノ培養ニ對シマシテ、伐ルコトニノミ此ノ法案ハ中心ヲ置イテ、培養ヲ致ス育成ニ對シテハ單ニ森林組合ト云フモノノミヲ根柢ト致シテ居ル、或ル人ニ言ハスナラバ、此ノ法案ハ寧ろ林業會法案ト云フヨリモ、木材法案ト云フ方ガ當ツテ居ルノデアリナイカト批評スル人サヘアルノデアリマス(拍手)

次ニ治山治水ニ對シマシテ、是等ハ何等ノ綜合性ヲ持ツテ居リマセス、今日ノ治山治水ノ問題コソ實ニ重大ナル問題デアリマス、何故ニ治山治水ニ對シテ之ヲ取入レナカッタカト云フ點、第七點ト致シマシテハ本案ノ第九十一條ニ於キマシテ「社團法人日本林業會ハ、日本林業會成立ノ時に解散するものとし、その權利義務は、日本林業會においてこれを承繼する」と謳ハレテ居ル點デアリマス、即チ愈々地木、日本ガ解體ヲシテ、今度農林業會ガ出來タ場合ニハ無條件デ、借金ガアラウガ、資產ガアラウガ、之ヲ直チニ持ツテ行ツテ此ノ中ニ入ラウト云フ問題デアリマス、是ハ法文ニ示サレテ居ル、私ハ靜カニ考ヘマスル時ニ、此ノ社團法人日本林業會ナルモノハ、ヤハリ是モ戰時中ニ出來タル所ノ會社デアリマス、何故ニ結體サツバリト之ヲ解體シテ、

明朗ノ裡ニ之ニ參量ガ出來ナカッタカト云フ點デアリマス(拍手)是ハ私ハ重大ナル問題ト思ヒマス、何故ニ其ノ儘之ヲ繼承スルカ、借金ガアラウガ何ガアラウガ、權利義務ヲ以テソコニ加盟シナケレバナラス、加盟セシメ得ルト云フ法文ヲ作ツタ是等ノ原因ヲ明カニシテ戴キタイ(拍手)

私ハ以上ノ七點ニ於テ林業會法案ノ内容ヲ檢討シマシタガ、實ニ滿身創痍デアリマス、氣息奄々デアリマス(拍手)此ノ法案ヲ以テシテ今日此ノ重大ナル日本林業ノ完成ヲ期シ、而シテ日本國土ノ培養ノ上ニ果シテ實スルコトガ出來ルカ、洵ニ遺憾ナ點デアリマス、是ニ於テ農林大臣ハ是ハ暫定法案ナリト官ハレルカモ分リマセス、併シ今日ハ正ニ林業會コソ重大ナル年頭ニ立ツテ居リマス、今日ノ一日コソ明年ニ對スル幾ラニナルカ、實ニ重要ナル價值アル今日デアリマス、左様ナ悠長ナ時デナイ、ソコデ私ハ最後ニ特ニ農林大臣ニ此ノ點ヲ提言スルノデアリマスルガ、以上申上ゲタ點ヲ十分ニ勸案シテ「今日我が國ノ現狀ニ於テ林業ニ關係スル法案ハ五ツアリマス、林業種苗法、薪炭需給調整法、或ハ森林法、更ニ森林資源造成法ト、今回出來ル即チ此ノ林業會法ノ五ツデアリマス、此ノ五ツヲ今日織込ミマシテ綜合的ニ——先程林田サシカラモ御話ガアリマシタガ、要スルニ之ヲ綜合的ニ致シマシテ協同組合ノ主義ヲ十分ニ採入レマシテ、相互ヒニ助ケ合ヒ、而シテ綜合施策ヲ以テ今日ノ林業會ノ完成ヲ期スルコトヲ提言スルノデアリマス(拍手)是ハ私ハ決シテ反對ヲセンガ爲メ反對ヲシ、野黨ナルガ故ニ反對セントスルモノデアアリマセス、今日ノ此ノ國情コ

ソ實ニ重大ナル年頭ニ立ツテ居リマスノデ、憂國ノ至情抑ヘ難ク之ヲ申上ゲテ居ル點デアリマス、ドウカ願フバ此ノ點ヲ十分御考慮ニ入レマシテ、來ルベキ議會ニハ綜合的ノ本當ノ理想的ナ、而モ非民主的ナル今日ノ政策ヲ排撃致シマシテ、民主的ナ政策ヲコ、織込ンデ、來ルベキ議會ニハ綜合的ノ森林協同組合法案ヲ提案スルト云フコトヲ明言ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)實ハ今日承リマス、近ク商工協同組合法案ガ提出セラレルト云フコトデアリマス、私ハ農林大臣ハ實ニ民主的ナ本當ニ今日ノ時代ガ要求シテ居ル人物デアリ(オ世辭ヲ言フナ)ト呼ブ者アリ然ルニ商工ノ組合ニ先シテラレ、而モ農ニハ農村ノ協同組合法案ヲ提出スルト云フ話デアツタガ、是モ反込ミノ狀況デアル、私ハ今一段、十分時代ノ實相ヲ達觀セラレマシテ、サウシテ綜合的ノ協同組合法案ヲ提出セラレンコトヲ、茲ニ宜シク御聲明ヲ願フテ置キモデアリマス

第四ニ於キマシテ今日ノ森林ノ情勢ヲ總括致シマシテ伺ヒマスルト、非常ニ戰時中ニ多クノ森林ガ伐リ盡サレマシタガ、少クモ民有林或ハ國有林ヲ綜合致シマシテ、二百萬町歩ト云ヒ、二百五十萬町歩ト云フモノハ荒廢ニ歸シテ居リマス、之ヲ如何ニスルカト云フ問題ニ付テ先日モ農林大臣ヨリノ御答辯ガアリマシタ、非常ニ意ヲ強ク致シテ居リマスガ、私ハ茲ニ御尋ネテ致サントスルモ、一體政府ノ御施策ハ洵ニ結構デアアリマスルケレドモ、此ノ御施策ニ副ツ所ノ結論ガ得ラレルカドウカト云フ問題デアリマス、ソレハ此ノ多クノ荒廢ニ對スル培養ノ點デア

リマスルケレドモ、本年ノ一月一日ニ於キマシテ、森林資源造成法ヲ實施サレマシテ、サウシテ政府ガ戰時中ニ於ケル犧牲山林ヲ救済セラレテ居リマス、所デハ八萬クコトニハ、此ノ證券制度ニ依リマスル造林公債ニ依ル費用ト云フモノハ洵ニ低率デアリマス、是ハ時間ガアリマセヌカラ簡單ニ申上ゲルノデアリマスガ、一町歩ニ對スル百圓、下刈ガ百四十圓、是ハ松デアリマスガ、一町歩ニ僅カニ二百四十圓ノ狀況デアリマス、政府ノ此ノ案ニ於キマシテ、二十年度ニ於キマシテハ、十四萬何ガシト云フモノガ此ノ造成案ノ計畫ニナツテ居リマスルケレドモ、僅カニ五萬町歩モ消化ガ出來ナイ狀況デアリマス、少クモ是ノ二十倍乃至二十五倍ノ費用ハ要ルデアリマセウ、之ニ對シテハ折角作ラレタ所ノ森林資源造成法ニ對シテ、是等ノ費用ニ付テハ十五倍乃至二十倍若シハ三十倍ニ引上ゲラレマシテ、而シテ今日ノ、特ニ植林ニ對スル政府ノ御方針ニ協力セシメ得ルコトガ最も必要ナリト存ジマスルガ、之ニ對スル所ノ當局ノ御方針ト決意ヲ承ツテ置キマス

次ニ森林ニ對スル教育ニ付キマシテ至極簡單ニ御尋ネテ申上ゲテ置キタイト存ジマスガ、我が國ノ森林ニ對シマシテ一般國民ノ教育ハ至ツテ幼稚デアルト察スルモノデアリマス、何トナレバ、木ニ親シミ、山ヲ愛スル精神ハアリト雖モ、其ノ實ハ少イト申シマスルコトハ、世界ノ中ニ於テ山火事ノ多イノハ日本ガ一番ダト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、今日ハ一木一草タリトモ大切ニ致サナケレバナリマセス、而シテ斯ウ云フ時ニ當リマシテ、私ハ木ヲ粗末ニスル、之ヲ毀損スル、

サウシテ荒レテ居ル所ニ於キマシテハ一本デモ植エテ行カナケレバナラス、是ハ公民教育ニ依ツテヤラナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ十分愛林思想ヲ教育ノ面ニ織込ンデ、サウシテ木ノ貴イコトヲ十分認識ヲ願ハナケレバナラス、一體空氣ノ大切ナコトハ知リツ、モ、ソレヲ考ヘナイト同ジコトニ、木ノ大切ナコトハ知リツ、モ、教育ノ面ニ於テ十分徹底シテ居ラナケレバ分ラナイト思フノデアリマス、願ハタバ此ノ點ニ付テハ十分教學ノ上ニ織込ミマシテ、サウシテ政府ハ農ニ小學校並ニ中學校等ニ於テ學校ノ營繕ヲ造ラレテ居ル、洵ニ結構デアリマス、實務教育ヲヤラセル上ニ於テ結構デアリマシテ、將來此ノ營繕ニ付テハ如何ナル方針ヲ持ツテ進マレルカ、更ニ營繕ヲ造ラレタル場合ニハ多額ナル助成ヲシテ、而シテ是等ノ實務教育ヲ徹底スルコト共ニ、而モ森林ノ大切ナルコト共ニ、實際ノ實利ヲ以テ國家ニ貢獻シ得ル實地ヲ作ル上ニ自ラ應ジ垂レルコトガ必要デアルト思フノデアリマスガ、是ニ於キマシテ此ノ點ニ對スル文部大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キモデアリマス

最後ニ私ハ治山治水ノ國土計畫ニ付テ少シク御尋ネテ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、水ヲ治メル者ハ能ク國ヲ治メルト云フ言葉ガアリマスガ、要スルニ水ヲ治メルト云フコトハ山ヲ治メルト云フコトデアリマス、山ヲ治メルコトハ木ヲ植エルコトデアリマス、是ハ能ク御存ジノコトヲ思フノデアリマスガ、戰時中ニ於テ濫伐、過伐ガ加ヘラレマシテ、而モ今日ハ民有林ニ於テハ百二十萬町歩、國有林ニ於テハ百萬町歩ト稱シ、百二十萬町歩ト稱

四〇三

官報外 昭和二十一年八月九日 衆議院議事速記第二十六號 林業會法案 第一讀會前會の續

シ、サウワテ禿山、裸峯が相連リマシテ、全ク裸レナル實相、荒廢ヲ致シテ居ル現實デアリマス、搦テ、加ヘマシテ、戰時中ニ松ノ根マデ掘リマシテ赤肌が出テ居ル、是ガ爲ニ少シノ雨ガ降ツタ場合ニ於キマシテモ直チニ大キナ水が出マシテ、半分ノ雨ニ依ツテ從來ノ倍以上ノ水が出ルコト云フヤウナ狀況下ニアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、是ハ昨年ノ十月ニ發生シテ致シタルアルノ關西、關東ヲ中心トスル二十府縣下ニ於テ出マシタ災害ニ依ツテモ明カデアリマスガ、而モアノ災害ニ於キマシテ、田畑ノ荒廢ガ六萬八千町歩、林野ノ崩壞ガ四萬町歩、人畜、家屋等ヲ毀損シタ其ノ額ハ驚クナカレ昨年ノ調査デハ二十億圓ノ損害ダト言ハレテ居リマス、斯ツ云フヤウナ國土ノ上一雨降ルナラバ、イツ何時今後ノ災害ガアルカモ測リ知レナイノデアリマス、然ルニ現在ノ政府ガ此ノ治山治水ニ對シテドウ云フヤウナ政治ヲ執ツテ居ラレカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス、即チ私ガ調ベタ點デアリマスガ、政府ノ此ノ山林ニ對スル、否、治山治水ニ對スル方針ト云フモノニ付テハ、山嶽砂防ト溪谷砂防ト云フモノガ此ノ水ヲ治メル上ニハ最も必要デアアル、然ルニ此ノ治山治水ノ點ニ於テ十分ナル方針ナク、而モ山嶽ノ砂防ニ付テハ農林省ガ之ヲ管轄シ、溪谷ニ付テハ内務省ガ之ヲ管轄致シテ居ル現實デアリマス、斯ツ云フヤウナ結果カラ、一昨日ノ本會議ニ於キマスル政府ノ御答辭ニハ、内務大臣ハ之ニ對シテ協力ナスルト云フコトヲ申サレタ、非常ニ私ハ意ヲ強ク致シテ居ルモノデアリマスガ、協力ナスルト云フノデハ、成程上ノ方デハ左様ナルコトが出

來ルカモ分ラヌケレドモ、溪流砂防ト云フモノト山嶽砂防ト云フモノ、溪流ト山嶽ト云フモノノ境界ハ頗ル至難デアリマス、斯ツ云フ結果ガ從來デモ仕事ノ上ニ於テ或ハ總張手ヒヲシ、或ハ割據主義ヲ以テマシテ、其ノ時機ヲ逸シテ居ツタ點ガアツタノデアリマス、此ノ場合ニ私ハ、特ニ全國ニ於テ此ノ崩壞ノ湖セントシテ居リマスル林野ガ澤山アリ、更ニ一朝暴雨ノ場合ニ於テハ、或ハ山ガ崩レル、或ハ護岸ガ流レテ、遂ニハ大キナル災害ヲ來スト云フヤウナ現在ノ段階ニアリマスル時ニ當ツテ、斯様ニ兩方ニ分レテ云スルト云フコトデハ實際ニ於ケル問題ノ解決ハ出來ナイ、ソコデハ私ハ一例ヲ取リマスガ、特ニ國幣ヲ傾倒致シマシテ治山治水ヲ今ニシテ行ハズンバ重大ナ問題デアリマシテ、實ハ明治四十二年桂内閣ノ當時ニ於テ關東ノ變ツタル大洪水ノ時ニ、内閣ハ根本的ノ治水對策ヲ樹テ、臨時治水調査局ヲ設ケラレテ、サウシテ當時ニ於キマスル所ノ重大問題ヲ解決致シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、更ニ米國ニ於テハ歐洲戰後ニ登リマシタ不景氣時代ニ於テ、國內ノ砂防ト云フモノニ付テハ徹底的ニ失業業者ヲ收容シテ國土ノ培養ニ努メラレタト云フコトヲ聞イテ居ルノデスガ、今一方ニ於テ山ガ崩レ、將ニ非常ナル危機ニ當面シテ居ルノデアアルガ、一方ニ於テ戰後ニ於ケル所ノ失業業者ガ澤山出テ居リマス、是ニ於テ私ハ先日衆議院大臣ハ此ノ點ニ於キマシテ失業業者ノ救済問題ヲ御話ガアリマシタガ、日本政府ニ於キマシテ宜シク今日ノ現狀ヲ鑑觀シ、治山治水ノ大則ニ則ツテ國土計畫ヲ樹テラレテ、サウシテ此ノ失業業者ヲ以テ、今日ノ國力ヲ傾倒

シテ、治山治水ノ完整ヲ期セラレンコトヲ私ハ提言スルモノデアリマス、之ヲサズンテ今日ノ國土ノ培養何レニアリヤト私ハ申上ゲタイ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ宜シク當局ハ意ヲ用ヒラレ、最善ヲ盡シテ此ノ國土計畫ヲ樹立サレンコトヲ欲スルモノデアリマスガ、之ニ對シテ私ハ大キナ問題デアリマスカラ、總理大臣ト思ヒマスガ、特ニ關係大臣ノ内務大臣、更ニ農林大臣、特ニ私ハ此ノ點ニ於テ農工大臣ニ關聯ヲ致シマスルカサ御話申上ゲテ置キタイコトハ、砂防事業ニ對シマシテ、ドウモ商務局ガ資料ノ配給ニ對シテハ獨善的ノ嫌ヒガアル、今將ニ崩壞セントスル砂防工事ヲササントスル場合ニ於キマシテ是等ノ點ヲ要求スルガ、ドウモ均等主義ヲ以テヤラレテ居ル、此ノ資料ニ付テハ「セメント」或ハ「ガソリン」、木材ノ點ト云フモノガアリマス、此ノ木材ノ點デアリマスガ、ドウモ木材ノ配給ニ付キマシテ均等主義ヲ持ツテ居ラレル、成程均等主義ハ結構デアリマス、併シナガラ今將ニ火ガ付イテ燃エントシテ居ル時ニハ消サナケレバナリマセヌ、最も必要ナル點ニ付テハ、時ニ依ルナラバ私ハ木材ノ配給ノ點モ、商工省ニ於テハ所謂重點主義ヲ以テ救済スルコトガ必要ナル點モ多クアラウト思ヒマスガ、唯機械的ニ均等主義ニヤレバ宜シイト云フヤウナ結果ガ、時期ヲ逸シテ大害ヲ招ク虞ガアルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、宜シク商工省ニ於テハ然ルベク今日ノ政治ノ上ニ織込ミマシテ、誤ラザル政治ヲ御執リ下サレンコトヲ希望スルモノデアリマス、以上ガ私ノ質問デアリマスガ、森林問題ハ詳ク申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、今日ノ國

政ノ進展上實ニ重大ナル問題デアリマス、此ノ點ニ付テ願ハタハ眞劍ニ私ノ質疑ニ答辭セラレンコトヲ御願ヒシテ降壇スルモノデアリマス(拍手)

(國務大臣和田博雄君登壇)

○國務大臣(和田博雄君) 大分多岐ニ反リマシタ御質問デゴザイマスノデ、簡單ニ御答辭致シタイト思ヒマス、第一點デアリマス森林ニ付テ國際的ナ管理ヲスル意思ガアルカト云フコトデゴザイマスガ、只今サウ云フコトハ聞イテ居リマセヌ

第二點ノ日本社ノ解體ニ付テハ、財閥解體ト同様ノ管理方式ヲ執ツタラドウカト云フコトデゴザイマスガ、日本社及地味本社ハ御存ジノヤウニ株主ノ大多數ガ森林所有者デアリ、或ハ木材業者デアリマシテ、一部ノ少數ノ者ガ株ヲ持ツテ居リマスヤウナ財閥トハ異ナルノデアリマス、唯之ヲ解散サセマスノハ、其ノ事業ガ獨占的デアリマスノデ、又特權的ナ性格ヲ持ツテ居リマスノデ之ヲ解散セシメルノデゴザイマシテ、隨ヒマシテ財閥解體ト同様ノ方式ヲ執ル考ヘハゴザイマセヌ、唯地味社等ノ解散ニ付キマシテ御話ノヤウナ不正ガアリマスルナラバ、私共十分ソレヲ監督シテ行クコトニ付キマシテハ齊デハナイノデアリマス

ソレカラ復テ法ナリヤ暫定法ナリヤト云フヤウナ御質問デアリマスガ、此ノ法ノ目的ト致シマス所ハ、屢々御説明致シマシタヤウニ、森林ノ所有者ノ團體ト、ソレカラ業者ノ團體ト、林產物ノ業者ノ團體トノ協力ニ依リマシテ、木材ノ生産配給ヲ民主的ニ統制シテ行カウト云フノデゴザイマス、此ノ方向ハ將來ト雖モ此ノ木材關係及ビ森林關係ガ末端カラ消費者、生産者カラ

消費者ニ至リマス間ニ、ソレノノ段階ガアリマス以上ハ、此ノ兩者ノ協力ニ俟ツト云フコトハ必要デゴザイマスノデ、此ノ方向ニ於テハ變リハナイノデアリマシテ、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ相當ノ是正ヲ致シマスレバ、本法ノ趣旨トスル所ヲ以テ將來ノ立法ノ中心トナスコトガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ社團法人日本林業會トノ關係デゴザイマスガ、是ハ今國ノ林業會ガ出來マシタ場合ニ於キマシテハ、社團法人デアル日本林業會ハ解散スルノガ當然デゴザイマス、併シ此ノ林業會ニ指導監督ニ當ツテ居リマスル所ノ林業會ニ財產ガアリマスルナラバ、ソレヲ、同様ノ趣旨デアリマスル所ノ今度ノ法律ニ依リマスル林業會ニ派繼セシメルコトハ適當ト考ヘマシタノデ、アノヤウナ條項ヲ入レタ譯デアリマスソレカラ薪炭ヲ除イタ理由ハドウカト云フノデゴザイマスガ、薪炭ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ現在農林會ト薪炭關係ノ業者トノ間ノ協調ニ依ツテ行ハレテ居ルノデアリマシテ、蓋當リ本法ハ木材ト云フモノヲ考ヘテ立案致シタノデゴザイマス、併シ薪炭業者會其ノ他ノ方面ノ話合ヒガ付キマシテ、業者側ノ希望ガアリマスナラバ、之ヲ其ノ點ニ付テハ考ヘテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス、併シ今同ノ差當リハ薪炭ヲ除イタ譯デアリマス

治山治水ノ問題ニ付キマシテハ本廳場ニ於キマシテ屢々御答ヘ致シマシタヤウニ、本年度ニ於キマシテハ約一億圓ノ豫算ヲ計上致シマシテ、四十七萬町歩、五箇年計畫ニ於キマシテ民有林、國有林ヲ合セマシテ二百七十二萬町歩ノ造林計畫ヲ立テテ居ル次第デゴ

ザイマス、第三期ノ治水事業ニ付キマシテハ、目下根本的ナ調査ヲ致ス考ヘデゴザイマシテ、其ノ十分ナル調査ニ基キマシテ、根本的ナル第三期ノ治水計畫ヲ樹テタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

森林組合ノ強化ノ點デゴザイマスガ、我々ト致シマシテモ勿論森林組合ガ強化サレマシテ、生産、集荷、配給ヲヤリマスコトハ望ム所デゴザイマスガ、現在ニ於キマスル森林組合ノ實力ハ、必ズシモ全部ガ全部ソレヲナシ得ル状態デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ現在ノ木材ノ集荷配給ガ圓滑ニ行キマス爲ニハ、ソレハ、實力ニ從ヒマシテ、其ノ兩者ノ協力ニ依ツテヤルコトガ適當ト考ヘマシテ本林業會法案ヲ作ツタ譯デアリマス、森林組合ハ現在ニ於キマシテモ或ル程度ノ統制力ヲ持ツテ居ルノデゴザイマシテ、現在我々ト致シマシテハ、森林組合ニ於ケル技術員ノ設置其ノ他ノ指導獎勵機關ヲ設ケマシテ、是ガ實質的ニ働キ得マスルヤウニ強化策ヲ講ジテ居ルノデゴザイマスルガ、尙ホ其ノ他ノ點ニ付キマシテハ十分將來ト雖モ考ヘテ行キタイト思ツテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ林業關係ノ法律ガ澤山アルガ、ソレヲ整理シタラドウカト云フコトデゴザイマスガ、是等ノ法ノ整理ニ付キマシテハ、別途研究致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、以上大體私ノ答辯ヲ終リマス

○議長(議員三君) 香川君ニ申上ゲマス、總理大臣ハ目下豫算委員會ノ方ニ出席中デアリマシテ席ガ外セナイトノコトデアリマス、特ニ總理大臣ニ御質疑ノ部分ガ殘ツテ居リマスモノニ付キマシテハ、適當ノ機會ニ答辯ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(田中耕太郎君登壇) 御答ヘ申上ゲマス、林業ノ振興ガ國家百年ノ大計デアルコトハ申スマデモアリマセヌ、教育モ亦國家百年ノ大計デアリマスカラ、隨テ教育ノ面ニ於キマシテ林業ノ獎勵シ、林業技術者ノ養成力ヲ用ヒマシタリ、又先程御指摘ガアリマシタヤウニ、森林愛護ノ精神ヲ普通教育ニ於キマシテ、特ニ公民教育ノ方面ニ於テ徹底致シマスコトニ、今後一層ノ努力ヲ拂ヒタイト存スル次第デアリマス

○國務大臣(大村清一君登壇) 國土計畫ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、政府ハ終戰後ノ新事態ニ即應致シマシテ、國土計畫ノ遺囑ナキヲ期スル爲ニ、近ク國土計畫ノ審議ニ關スル機關ヲ作りマシテ、十分調査審議ヲスル豫定デ居リマス

○國務大臣(星島二郎君登壇) 國務大臣(星島二郎君) 御質問ノ最後ニ私ヲ指摘シテ御尋ネデアリマシタガ、實ハ私意外ニ考ヘマス、商工省ト致シマシテハ重點配給ト申シマスヨリ、超重點配給デヤツテ居リマスノデ、少シ均等セヨト云フ言葉ヲ豫期シテ居リマシタガ、今後需給調整法等ノ法案ヲ御協賛願ヒマシテ、此ノ非常時局ニ對シマシテ已ムナキコトナガラ均霑主義デヤナシニ、超重點配給ヲヤツテ行クコトヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○香川君 我ハ農林大臣ノ御答辯ニハ非常ニ不満足ノ點モアリマスガ、之ヲ以テマシテ質疑ヲ打切り、アトノ點ハ委員會ニ譲リマス

○議員(議員三君) 仲子隆君

○仲子隆君登壇 本法案ニ付テ既ニ四人ノ方々ガ質問サレマシタガ、私ハ新政府ヲ代表致シマシテ若干ノ御伺ヒヲ致シマス

本案ガ制定セラレマシタ理由ニ付テ總テ疑ガアル、表面提案御説明ノ如ク洵ニ結構ナ理由ガ掲ゲラレ、又第一條或ハ第六十六條ニ於テ明カデゴザイマスルガ、結局是ハ木材統制法ノ引込ミガ付カナイ、或ハ賣買業者デアアル獨專者達ノ始末ガ付カナイ、其ノ爲ニ出ルノデハナイカト總テ疑ハレテ居ルヤウデゴザイマス、此ノ地木ノ裏等ニ付テハ、既ニ多數ノ質問ガゴザイマシタカラ、餘リ述ベル必要ハナイノデハアリマスルガ、結局統制法ヲ笠ニ着テ不正ナル行動ガ行ハレル、其ノ結果森林所有者ヲ強制シ、或ハ威嚇シ、場合ニ依ツテハ警察官ヲ派遣シ、斯クノ如キコトヲシテ木材ヲ強奪シ、之ニ依ツテ多ク富ヲ作ル、或ハ浪費ヲナシタト云フ疑ヒガ各方面ニアルカラダト思フノデアリマス、元來地木ノ組織ハ縣ノ官僚ノ古イ人ガ其ノ主ニナリ、所謂從來ノ山師ガ之ヲ取巻イテ行ハレタモノデアルガ故ニ、其ノ組織ノ上ニ於テ、或ハ働キノ上ニ於テ、若干ノ不正或ハヒドイ不正ガ各所ニ於テ行ハレタ、其ノ橫流シ、價格ノ違反、或ハ頻リニ實會ヲ催シテ浪費ヲシタト云フヤウナコトガアルト考ヘラレルノデアリマス、殊ニ昨年十一月以來、地木ハ其ノ價格ノ値上、或ハ解散氣構ヘ等ニ對シテ、從來購入シテ居ル所ノ優良ナル森林ヲ自ラ分ケテ取り、骨ヲ後ニ殘シタ、ソコデ今日赤字ガアル、之ヲ日本ニ併合シタ時ニ、帳面ノ上ニ於テハ七千萬圓

ノ收入ガアルガ、地木ノ赤字ヲ補フ時ニハ一千万圓ニナルデアアラウ、斯ウ云フノガ農林省ノ見解デアリマスガ、現ニ七千萬圓ト云フモノガアリ、之ヲ分ケテ地木ニ與ヘルト云フガ如キハ、先般或ル人ハ之ヲ泥坊ニ追銭ト言ツタノデアリマスルガ、我々ハ事實如何ナル財産ガアルカ知ラナイケレドモ、兎ニ角斯クノ如キ不正ガアツタト云フコトハ考ヘラレル、今日新タニ出テ來ル此ノ林業會法案ニ於テ、再ビ浮ビ出テ來ル所ノモノ、即チ先ノ亡靈ガ又此處ニ出テ來ルノデハナイカト云フ國民ノ疑ヒガアルノデアリマス、自治的統制團體ニスルコトハ洵ニ結構デアアルガ、尙ホ多數ノ疑ヒガアルナラバ、本案ハ今少シ詳シイ説明ガアルマデ其ノ決定ヲ止メ、或ハ必要ニ應ジテハ、農林省ハ本案ヲ御取下ニナツタラ如何カト思フノデアリマス、森林組合及ビ其ノ聯合會ガアリ、或ハ林業者ガアルト云フナラバ、之ニ十分ナル援助ヲ與ヘテ強化シ、整備監督シテ、國民ニ必要ナル木材ヲ供出セシメル、國家ノ將來ニ必要ナル木材ヲ生產セシメル、更ニ不足ナラバ、從來行ハレテ居ル官行研伐ヲ盛ンシシテ目的ヲ達成スレバ宜イ、敢テ此ノ際林業會及ビ林產組合ト云フモノヲ設ケル必要ハナイノデハナイカト思フノデアリマス

○國務大臣(星島二郎君) 御質問ノ最後ニ私ヲ指摘シテ御尋ネデアリマシタガ、實ハ私意外ニ考ヘマス、商工省ト致シマシテハ重點配給ト申シマスヨリ、超重點配給デヤツテ居リマスノデ、少シ均等セヨト云フ言葉ヲ豫期シテ居リマシタガ、今後需給調整法等ノ法案ヲ御協賛願ヒマシテ、此ノ非常時局ニ對シマシテ已ムナキコトナガラ均霑主義デヤナシニ、超重點配給ヲヤツテ行クコトヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○香川君 我ハ農林大臣ノ御答辯ニハ非常ニ不満足ノ點モアリマスガ、之ヲ以テマシテ質疑ヲ打切り、アトノ點ハ委員會ニ譲リマス

計シテ強硬ナル御處斷ガ行ハレルノデアアルカドウカ、今日食糧ノ關連トカ或ハ戰爭犯罪人等ニ對シテ、相當強烈ナ追放其ノ他ノ處分ガ行ハレテ居リマスガ、此ノ陰ニ居テ大キナ利殖ヲ占メタ林業者ノ不正、或ハ其ノ關係者ノ不正ト云フモノガ有耶無耶ノ中ニ置カレ、或ハ又林業法ヲ通シテ浮ビ出ルト云フコトデアレバ、國家ノ將來ノ爲ニ甚大憂フルモノデアリマス(拍手)

不正ガ關係方面カラ指摘サレルト云フコトニ依ツテ、仕様ナシニ此ノ法案ガ出ルト云フコトデアアルナラバ、是ハ國家トシテ洵ニ見識ノナイコトデアリマス、曾テハ衰龍ノ袖ニ隠レトカ、虎ノ威ヲ藉ルト云フ言葉ガアツタノデアリマスガ、又何モノカラ藉リテ我々議會ニ押付ケヤウトサレルモノト考ヘラレテモ致シ方ガナイノデハナイカト思フノデアリマス

次ニ政府ノ林業政策ニ付テ御伺ヒシタイトデアリマスガ、消費者ニ過大ナル負擔ヲ課シ、木材ハ入手出來ナイ、生産者ニハ過少ナル報償ヲ與ヘルト云フコトニ依ツテ、是マデ生産ト供出ノ意欲ヲ衰ヘシメタ、之ヲ適正ニスルコトガ仕事デアアル、國家ノ將來ニ必要ナル木材、現下ノ必要ニ應ジテ最モ活潑ニ材木ヲ動かスコトガ國家ノ政策デアアルデアリマス、滿洲事變以來權力ニ依ツテ伐リ取ラレ、十六年五月統制法ガ出テカラモ計画的ニ伐リ取ラレ、昨年十一月以來ハ混亂ノ狀態ニアリマス、本法ニ依ツテ自治ニ任ス、斯ウ云フ方針ノヤウニ承ツテ居リマスルガ、今後ノ政府ノ政策ヲ本法ニ依ツテ出テ來ル所ノ自治ニ任サレタノデアツテハ、將來ノ國家ノ木材政策ガ洵ニ怪シイモノニナリハシナイカト思ヒマス、

○議長(議員三君) 香川君ニ申上ゲマス、總理大臣ハ目下豫算委員會ノ方ニ出席中デアリマシテ席ガ外セナイトノコトデアリマス、特ニ總理大臣ニ御質疑ノ部分ガ殘ツテ居リマスモノニ付キマシテハ、適當ノ機會ニ答辯ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(田中耕太郎君登壇) 御答ヘ申上ゲマス、林業ノ振興ガ國家百年ノ大計デアルコトハ申スマデモアリマセヌ、教育モ亦國家百年ノ大計デアリマスカラ、隨テ教育ノ面ニ於キマシテ林業ノ獎勵シ、林業技術者ノ養成力ヲ用ヒマシタリ、又先程御指摘ガアリマシタヤウニ、森林愛護ノ精神ヲ普通教育ニ於キマシテ、特ニ公民教育ノ方面ニ於テ徹底致シマスコトニ、今後一層ノ努力ヲ拂ヒタイト存スル次第デアリマス

○國務大臣(大村清一君登壇) 國土計畫ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、政府ハ終戰後ノ新事態ニ即應致シマシテ、國土計畫ノ遺囑ナキヲ期スル爲ニ、近ク國土計畫ノ審議ニ關スル機關ヲ作りマシテ、十分調査審議ヲスル豫定デ居リマス

○國務大臣(星島二郎君登壇) 國務大臣(星島二郎君) 御質問ノ最後ニ私ヲ指摘シテ御尋ネデアリマシタガ、實ハ私意外ニ考ヘマス、商工省ト致シマシテハ重點配給ト申シマスヨリ、超重點配給デヤツテ居リマスノデ、少シ均等セヨト云フ言葉ヲ豫期シテ居リマシタガ、今後需給調整法等ノ法案ヲ御協賛願ヒマシテ、此ノ非常時局ニ對シマシテ已ムナキコトナガラ均霑主義デヤナシニ、超重點配給ヲヤツテ行クコトヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス

○香川君 我ハ農林大臣ノ御答辯ニハ非常ニ不満足ノ點モアリマスガ、之ヲ以テマシテ質疑ヲ打切り、アトノ點ハ委員會ニ譲リマス

森林ノ造成或ハ保護等ニ付テハ詳シク御話モアリマシタガ、統制ニ關スル問題、所謂價格統制ニ關スル問題、本年三月ニ定メラレテ、其ノ後ノコトハ省ニ於テハ如何ニスベキカ研究中ダト言ハレテ居リマス、今日冬ガ近付ク前ニ、罹災者等ハ木材ヲ手ニ入レルコトニ燒テ付タメイテ居ル時ニ、尙ホ公定ハ研究中デアルト云フヤウナコトデハ間ニ合ハスト思ヒマス、又需給ノ一例ニ付テ申シマシテモ、罹災戸數二百數十萬ニ對シテ必要ナル木材ヲ一戸當リ十五坪トスレバ一億二千萬有要ルト云フ統計デアリマスガ、本年復興院關係デ考ヘラレテ居ルノハ僅カニ十二萬五千戸ニ對スル木材デアアル、罹災戸數ノ二十分ノ一ニシカ相當シナイヤウニ考ヘラレマス、斯クノ如キコトデ全國多數ノ罹災者ガ此ノ如何ニ困難ニ遭遇スルカ、私ハ昨冬六疊一間ノ小屋ノ中ニ蚊帳ヲ吊ツテ、炬燵ニ病人ヲ寝セ、降ル雪ヲ避ケタコトヲ想ヒマシテ、今日ノ多數ノ人達ガ非常ニ困難ニシテ居ル、是ハ需給統制ニ關スル政府ノ方針ガ十分立ツテ居ルナイコトニ基因スルモノデハナイカト思ヒマス

次ニ價格ノコトニ付テ、關取引ガ今日行ハレテ居ル、政府モ御承認ノヤウニ、鐵道輸送ニ依リ東京都内ニ入ル木材ノ六割ハ關取引デアアル、其ノ他ノモノガ住宅營團或、其ノ他ニ依ルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ聞キマス、自治ニ任シテシマフナラバ尙ホ當分ノ内閣院ハ議案シ、國民ハ正當ナル價格ヲ以テ木材ヲ入手スルコトハ困難デアルト考ヘマス、之ニ對スル政府ノ政策ヲ承リタイノデアリマス

トデアアル、森林法第十九條ニ地方森林會ナルモノガアリマス、昨年設立サレタル林業會ナルモノガアリマス、斯ウ云フモノト、此ノ法典ニ依ツテ定メラレルモノトノ關係ガハツキリ致サナイ、又本法ガ單獨ニ提出セラレルコトニ依ツテ、從來出テ居ル所ノ多數ノ法規ハ皆舊式統制主義時代ノ法規デアリ、前質問者ノ聴カレタ如クニ、修正則除テ傷ダラケノ法典デアリ、多數ノ法規ガ不統一デ百面相ヲナシテ居ル、今度ノ自治自由ナル組織ガ出來テ、之ヲ受取ツタ場合ニハ、オ化ケミタヤウナ多數ノ法規ニ、間違ツテ居ツテモ不當デアツテモ從ハナケレバナラナイト云フコトニナルト思ヒマス、尙ホ本法内ニ定メラレテアル第一條第二項ノ、主務大臣ニ於テ定ムベキ林產物ノ範圍、木材トハ何カ、木材及ビ其ノ他ト言ツテモ、木材ノ中ノ單板、「ベニヤ」板、床板、仕組板、樑板其ノ他仕組建築材ト云フモノ、或ハ木炭、薪、竹材、杉櫨皮、是等ノモノニ付テハツキリシナケレバ、本法案ハ審議ガ困難デアルト思ヒマス、或ハ八條又ハ七十條ニ規定シテアル所ノ稅ノ免除ヲスルモノデアアルカ、林產組合ノ如キハ營業ヲ行フベキデアアルニ拘ラズ、法人稅、所得稅、營業稅ガソレレノ形ニ於テ免除セラレルト云フコトハ、是ハドウ云フ意味ノモノデアアルカ疑ヒヲ持ツデアリマス

次ニ科學的研究ノ指導計畫ハ如何デアアルカ、森林ノ造成法、製材方法、保管、運輸ノ方法即チ道路ヲ作り、或ハ汽車、船等ニ依ツテ運輸スル、或ハ配給ノ方法、加工利用ノ方法、又ハ森林ノ未利用資源ト云フヤウナモノガ考ヘラレルニ付テ、是マデノ林業ハ自然的、習慣的ナ舊式ノ方法デ行ハレテ居ル、今日早急ニ必要ナル建築等モ從來トハ其ノ様式ヲ變ヘルモノデアリ、土建其ノ他ニ於テモ作業方式ヲ常ニ變ヘルモノデアリマス、新シイ機械ガ入り、用具ヲ輸入スルト云フコトニナレバ、動力、電力等ノ利用、機械ノ利用、今日ノ各種產品ヲ利用シテ、昔カラノ自然ノ方法ニ依リ林產物ノ處理ニ付テ科學的研究指導ガ必要デアアル、之ニ對シテ未ダ内容ガ示サレテ居ラズ、豫算ニモ其ノ點ガ明カナイノデアリマスガ、舊式方法ニ依ル木材ノ規格、稍トカ、石トカ云フコト、寸法ノ問題、是等ヲ統一シ、能率的ナ、科學的ナルモノニシ、文化水準ノ高イ今日、或ハ將來ニ對シテ一層精密ナル研究、十分ナル指導ノ必要デアルコトヲ考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ御方針ハナイカ

尙ホ附隨致シマシテ、先ニ質問サアツテ御答ヘガナイノデアリマスガ、森林所有權ニ關スル制限ハ農地法ノ如ク行ハレルノデアアルカドウカ、社寺關係ノ國有林、保管林ト云フモノガアリマスガ、是ハ今度ノ憲法ニ關聯ヲ以チマシテ如何ニ處理セラレルモノデアリマスカ、以上ノ要點ヲ擧ゲマシテ質問致シマス(拍手)

〔國務大臣和田博雄君登壇〕
○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘ致シマス、本法制定ノ目的ハ今マデ御説明申上ゲマシタヤウニ、森林所有者ト、ソレカラ林業業者トノ協同ノ力ニ依ツテ木材ノ生產配給ヲ自治的ニ統制スルト云フノデアリマシテ、官僚ノ統制ヲ復活スルト云フコトデアアリマセス、ソレカラ政府ノ林業政策ノ點ニ付キマシテハ、先ノ質問者ノ方ニ御答ヘ致シマシタヤウニ、過伐、増伐ニ對シマシ

テハ、五箇年ノ計畫ヲ立テマシテ、伐採ノ跡地デアルトカ、無立木地ノ大部分ヲ綠地化スル方針デアアルコトヲ御諒承願ヒタイト思フデアリマス

ソレカラ課稅ノ免除デアリマスガ、是ハ林業會ガ營利團體デゴザイマセス故ニ免除サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ山林ニモ亦農地ト同ジヤウニ所有ノ制限ヲ設ケルカト云フ御尋ネデアリマスガ、此ノ點ハ設ケル意思ハゴザイマセス、ソレカラ社寺ノ保管林デアリマスガ、是ハ從來ノ色々ノ關係モアリマスルノデ、境内地ノ必要ナ限度ニ於キマシテハ之ヲ社寺ニ讓渡致シマスルシ、又其ノ他ノ保管林ニ付キマシテモ、從來ノ社寺ガ持ツテ居リマシタ點等ヲ尊重シテ適當ニ處分致シタイ、斯樣ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ森林又ハ木材關係法規ノ整理統一ノ問題デアリマスガ、是ハ森林ニ關スル法規ハ、森林行政ガ非常ニ古カラ行ハレテ居リマス關係上、色々ノ歴史ヲ持ツテ居リマスルシ、ソレカラ又多岐ニ互ツテ居ルノデゴザイマスルガ、マダ整理シ得ル問題モアルト思ヒマスルノデ、是ハ研究ノ上適當ニ處理致シタイト思ヒマス

ソレカラ自主統制ノ方式ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ林業會デアリマスルトカ、林產組合デアリマスルトカ、森林組合ト云フヤウナ團體ニ依リマシテ、生産ナリ配給ノ劃當ヲヤリマシテ、サウシテ之ヲ自治的ニ行ハレルノデアリマス、併シ勿論政府ガ今度出シマスル所ノ需給調整法ニ依リマシテ、必要ガアリマスレバソレニ依ツテ裏打ラシテ行クト云フコトハ勿論致ス考ヘデアリマスガ、何處マデモ民意ヲ尊重シテヤツテ行クト云フ積リデアリマス、是ハ

自治的ノ統制デアリマスルノデ、此ノ林業團體ノ組織員ト云フモノハ、ヤハリ自分達ガ自主的ニヤツテ行クト云フコト十分自覺サレマシテ、此ノ政府ノ施策ニ協力シ、統制ノ實ヲ擧ゲテ行クヤウニ努メテ戴キタイト思フデアリマス、價格ノ點ニ付キマシテハ、是ハ御説ノヤウニ木材ガ基本ナ物資デアリマシテ、其ノ影響スル所ハ非常ニ大キクゴザイマスルノデ、他ノ物價トノ關係ヲ考ヘマシテ、適當ニ是ハ決メタイト研究致シテ居ル次第デアリマス

ソレカラ林業並ニ林產物ニ付テノ科學的研究デアリマスガ、是ハ御説ノ點ハ全ク同感デアリマシテ、差點ハ林業試驗場ノ再建ノ爲ニ四百萬圓ノ豫算ヲ計上シテ支出ヲ致ス豫定デゴザイマスルガ、又民間ノ研究機關ノ動員ニ付キマシテモ十分考慮致ス考ヘデアリマス、簡單デゴザイマスルガ、大體以上デ御答ヘ致シマス(拍手)

○議長(議員三君) 仲子君ニ申上ゲマス、内務大臣ハ今急ニ用事ガ出來マシテ、一寸席ヲ外シマシタガ、是デ宜シウゴザイマカス

○仲子君 政府委員カ誰カ代ツテ説明ハ出來マセムカ、内務省關係ノ政府委員ガ來テ居ラレマセウカ

○議長(議員三君) 先程ノ御質問ノ點ハ司法大臣ノ管轄デセウ

○仲子君 後來ノ法規ニアル所デアハ内務大臣ノ管轄ト思ヒマスガ……

○議長(議員三君) ソレデハ後刻ソレニ對スル御答ヲスルコトニ致シマシテ……

○仲子君 ソレデハ宜シウゴザイマス、以上デ私ノ質問ヲ打切りマス

○議長(議員三君) 伊藤實雄君〔伊藤實雄君登壇〕

○伊藤實雄君 公私無所屬俱樂部代表
表致シマシテ、本案ニ付キマシテ數點
ニ互ツテ關係大臣ノ所見ヲ承リタイ
存ズルノデアリマス、而モ先日本案
ニ付キマシテハ色々ナ角度カラ御質問
アリツタデアリマスガ、私ハ實際ニ
第一線ニ於テ働キマシタル此ノ事實ヨ
リ、只今上程中ノ本案ガ無意味デア
ル、此ノコトニ付テ主務大臣ノ所見ヲ
御伺ヒ致シタイ存ズルデアリマス
先ツ第一點ハ只今上程ニナツテ居リ
マス所ノ林業會法案ニ依リマス、換
管スレバ現在アリマス所ノ木材統制法
ト何等變ツタモノデハナイト、斯様ニ
考ヘザルヲ得ナイデアリマス、政府
ハ昨年十二月、木材統制會社ノ運管方
法ガ惡イノカ、將又是ガ不必要ト思ハ
レタノカ分リマセムガ、縣森聯ヲシテ
木材統制ノ權利ヲ地方長官ノ命ニ依
テ代行致シシメタデアリマス、茲ニ
於テ縣森聯ト致シマシテハ改メ營々
シテ木材統制ノ完整ヲ期シマシテ、現
在木材ニ於テハ左様ナ非難ヲ受ケナイ
ノガ現状デアアルデアリマス、然ラバ
木材統制會社、所謂地木ハドノヤウナ
仕度ヲ致シテ居ルカ、此ノ點ヲ檢討ス
レバ、只今統制會社ガ原木ヲ買ヒマス
ニハ一石當リニ付テ二十五圓ガ仲値デ
アリマス、之ヲ生産組合ガ買ヒマシ
テ、伐採致シテ運賃ヲ付ケテ地木ニ出
ス、運賃等算入致シマシテ大體七十圓
程度ニナルノデ、十圓ノ利潤ヲ見マシ
テ八十圓ノ地木ハ賣出ス、地木ハ此ノ
八十圓ニ對シテ概ネ三十圓ノ製材費ヲ
掛ケマシテ四十圓ノ製材アリマスガ、是
ハ製材スレバ五分止リニナツテ來ル、隨
テ二十圓乃至二十圓デアツタモノ
ヲ、現在木材價格ガ御承知ノ如ク殆ド

悉ク三百圓以上デアリマス、即チ財閥
ニ近イ所ノアノ業者ト役人ノ古手ノ作
ツタ所ノ此ノ統制會社ガ、朝九時ニ出
テ夕方三時半ニ歸ツテ、サウシテ一石
ニ付テ百圓バカリ儲ケテ居ルコト云フ
ガ現在ノ地木ノヤリ方デアリマス(拍
手)是ニ於テ所有者デアリマス所ノ
農家ニ於キマシテハ、一本ガ二十五
圓、所謂一石ノ木ヲ作ラウトスレバ、
如何ニ土地ノ良イ所デアリマシテモ少
クトモ三十年ヲ要シマスガ、三十年ヲ
要シタル所ノ此ノ大切ナ木一本ト、木
材會社ガ一瞬ニシテ儲ケル所ノ利益ヲ
比較檢討致シマス時ニ、何ト其ノ利潤
ノ三分ノ一ニモ相當シナイト云フコト
ニナリマスカラ、山林所有者ハ木材ヲ
賣ルコトヲ非常ニ惜シデ來テ居ルノガ
現状デアアルデアリマス、隨ヒマシテ
私ハ農林大臣ニ御尋ネ致シタイコト
ハ、斯様ナ我々ト致シマシテハ考ヘベ
カラザル不當ナ利益ヲ取ツテ居ル所
アノ木材統制株式會社ノ如キモノヲ、
又名前ヲ變ヘテ林業會社トシテ御出シ
ナル其ノ趣旨ハ何處ニアルカ、我々オ
互ヒニ考ヘマスルニ、此ノ百圓ト云フ
利潤ヲ半分ハ山林所有者ニ與ヘ、半分
ヲ受配給者ニ與ヘマシタラバ、初メ
テ物價ノ低下ヲ期シ得ラレ、而シテ所
有者モ喜ンデ原木ヲ出シテ行クノデハ
ナイカ、サウシテ初メテ茲ニ木材ノ需
給關係ノ完整ヲ期スルコトガ出來ル
デハナイカト考ヘルデアリマス、併
シナガラ先日來ノ御答辯ニ依ルト、是
ハ自主的ニトカ何トカ申サレケレド
モ、森林組合員デアアル所ノ所有者ハ殆
ドノ方ガ農家デアリマス、併シナガラ
林業組合デアリマス方ハ一ツノ商賣人
デアアル、シテ見レバ商賣人ト云フモノ
ハドウシテモ大家、農民ヨリ利口デア

ル、是ニ於テ官憲ト手ヲ握リマシテ、
從來ノ木材統制株式會社ノ如ク我々所
有者農民ヲ徹底的ニ壓倒スルコト云フコ
トハ、明カナ事實デアアルト確信シテ疑
ハナイデアリマス、之ヲ強ヒテ農林
大臣ハ此ノ木材統制會社ト同ジヤウナ
モノヲ作ラウトサレル所見ニ付テ、今
一入御親切ニ、我々ガ納得行クマデニ
御説明ノ程ヲ切ニ懇願シテ已ミマセ
第二點ハ薪炭問題デアリマスガ、是
ハ林產物ノ決メ様ガ私ハ惡イト思フ、
只今ノ法令ニ依リマス、林產物ハ
木材其ノ他森林カラ產出スルモノデ主
務大臣ノ指定スルモノト書イテアル、
森林組合ガ單位々々ノ森林組合ニ對シ
テ木ヲ伐採サセテ、之ヲ焚物ニシタラ
何ガ故ニ是ハ林產物デアイノカ、斯ウ
云フコトヲ主務大臣ニ於テ決定スル
云フ、左様ナ必要ガ何處ニアルカ、隨
ヒマシテ薪炭問題ニ付テ現在ノ事情
見マス、私ノ出身ノ廣島縣ニ於テ、
是ハ私ガ目ノ前ニ見テ居リマスカラ申
上ゲルデアリマスガ、現在廣島ニ於
テハ尺二二號ト云フ薪、即チ一尺二
寸デ二尺五寸ノ繩ヲ二廻リデアリマ
カラ、一廻リガ一尺二寸五分、直徑四
寸、是レバカリノ薪一把ノ配給價格二
圓七十五錢デアリマス、此ノ二圓七十
五錢ヲ、燃料統制配給會社ガナント驚
ク勿レ七十五錢取ツテ居ル、サウシテ
木炭事務所ガ七十錢取ツテ居ル生産者
ニ對シテハ半分ニ足リナイ一圓三十錢
シカ拂ツテ居ラス、是ヲ以テ薪炭ノ出
ヨウ答ガナイ、而モ是ガ遠方ニ行クナ
ラ宜イデアリマスガ——遠方ト近イ
所ニ依ツテ運賃ガ「ブル」計算デ統制
會社ノ利益ガ違フデアリマセウカ
ラ、遠方ナラマダ宜イガ、廣島縣ノ例
ヲ見マス、此ノ薪十五里モ二十里

モ持ツテ行クノデヤナイ、遠クテ五里
カ三里デアアル、ソコデ我々ガ常ニ目撃
スルコトハ、町内配給ノ場合非常ニ生
產者ニ不安ナ考ヘヲ持タセル、ドウ云
フコトニナルカト云フト、單位森林組
合ガ、ヤレ薪ヲ出セ、薪ヲ出セト請求ス
ル、サウシテ集荷ノ命令ノ時ニ持ツテ
行キマス、持ツテ行キマス、是ハ代
金ガ一圓三十錢デアアル、隣ノ方ハ之
ヲ直ク持ツテ歸ツテ、アノ統制會社ノ
帳面ヲ通スノミニ於テ、ナント一圓三
十錢ガ、一圓四十五錢手數料ヲ取ラレ
テ二圓七十五錢配給サレテ居ルノガ
現状デアアルト思フデアリマス(拍手)
斯様ナ燃料配給統制組合ト云フモノ
ハ、正シク其ノ仕事ハ縣森聯ニ代配給
ノ權利ヲ與ヘルモノデアアルト私ハ信
ジテ疑ヒマセム、即チ縣森聯ハ森林所有
者ノ保護團體デアアル、我々農民デア
ルノ森林所有者ヲ援ケル所ノ團體デ
アル、之ニ依ツテ斯様ナ代行配
給ヲ致シタ時ニ初メテ森林所有
者ノ爲ニ行ヒ、ソレガ隨テ配給
ノ完整ヲ期スルモノダト私ハ信
ジテ疑ハナイ次第ナデアリマス
尙ホ御伺ヒ申上ゲタキコトハ、政府
ノ木炭事務所ト云フモノガ薪一把ニ付
テナント七十錢ヲ取ツテ居ル、而モソ
レハ配給價格二圓七十五錢ノ薪デ以テ
七十錢モ取ツテ居ル、此ノ金ハ一體ド
ウスルノデアアルカ、此ノコトニ付テ詳
細ナル御答辯ヲ御願ヒ申上ゲタイノデ
アリマス

其ノ次ニハ統制會社ノ問題デアリマ
シテ、一寸話ガ廣ニナルト皆様仰シヤ
ルカモ知レマセムガ、暫ク時間ヲ與ヘ
給ハリマシテ、一般配給會社、配給組
合ノコトニ付テ農林大臣ニ御尋ネヲ申
上ゲタイト思ツテ居リマス、只今戰爭
ノ遺物トシテ殘ツテ居ル統制組合、就
中諸縣統制會社ヲ見マス、現在ハ主
要食糧トアツテ、非常ニ生産増強ノ意
味カラ或ハ生産獎勵金トカ、或ハ二重
價格制ノ如キコトヲ布イテ居ラレマス
ルカラ、私ハ之ヲ目ノアタリ見ルコト
ハ出來マセムガ、一昨年、生産獎勵金
ノナイ時、二重價格制ノナイ時ヲ見マ
スルニ、我々ガ農家ニ對シテ供出ヲ御
願ヒ申上ゲマシタノハ一貫當リ二十二
錢デアアル、サウシテ我々町村長並ニ農
業會長ハ、ヤレ出セト言ツテ厭ナ顔ヲ
サレテ御願ヒ申上ゲ、一生懸命汗ト膏
ヲ以テ百姓ニ御願ヒヲ申上ゲテ、二十
二錢ヲ集メテ諸ヲ直チニ食糧營團ニ持
ツテ行ク、食糧營團デハ直チニ之ヲ配
給シテ、其ノ配給ノ跡ヲバツト見マス
ト、一番難儀ヲシマシタル所ノ町村農
會ハ一貫目ニ付テ一錢五厘ノ口錢デア
リマス、此ノ一錢五厘ハ農家ニ戻ツテ
來ル、農家會ニ戻ツテ來ル、是ハ五錢デ
モ宜イ、併シナガラ我々ガ集メテ食糧
營團ニ持ツテ行ツテ、直チニ配給ヲサ
シテ、唯我々ノ報告ニ依ツテ帳面ヲ通
ス所ノアノ諸縣統制株式會社ハ、ナン
ト驚ク勿レ二十二錢カラ七錢取ツテ居
ル、二十二錢ニ對シテ七錢取ツテ居
ル、食糧營團ハ二錢五厘取ツテ、之ヲ
一錢五厘、二錢五厘、七錢ト取ツテ三
十三錢配給シタ、一番多ク取ツタ所
ノアノ統制會社ハ何等苦勞モシナイ、
帳面ヲズラノトヤツテ三時半ニ歸
ル、サウシテ七錢取ツテ居ル、サウシ
テ人ニ惡口ヲ言ハレテ、外道ナドト言
ハレル農家會長、町村長ノ方ハ、是ハ
個人ガ取ルノデハナイ、農家ノ保護團
體デアアルカラ農家ノ收入ニナル、是ガナ
ント一錢五厘デアアル、農家ノ立場ヲ考

ハナ見マスルト、アノ四月カラ温床ヲ作
ツテ種苗ヲ作ル、五月ノ雨ヲ狙フテ種
ヲ播付ケ、夏ノ肥培管理、サウシテ秋ニ
之ヲ刈リマシテ、セレ供出ト云フノデ
儀ヲ工面シ、以テ賣ヒ歩ム、十五貫
入ノ以ガナント一圓五十錢、種買フ
ト二圓、サウ致シマス一貫五付テ
十二、三錢ニ付クデヤナカ、十二錢
ハ本當ニ取リマス一貫五、値段ハ
十錢ニ足ラヌ、之ヲ以テ出シ、言ツテ
モドウシテ出マスカ、作レ、言ツツテ
作ルハナ、此ノ統制組合ガ七錢取
ルト云フコトガハツキリ分ツテ、尙更
ニ嚴シクシテハ此ノ統制組合ノ不蒙ナル
コトヲ感ジタノデアリマス、斯様ナ
時下ニ於ケマスル所ノ遺物デアラ
ザル統制組合ガ、或ハ帝國新炭株式會
社デスカ、マア數ハ限リ限リアリマ
セヌ、コソナモノハ直ニ全面的ニ廢
止致シテ賣ヒタイト在ルノデアリマ
スルカ、之ニ對シテ農林大臣ハ如何ヤ
ウニ考ヘテ居ラレカ農林大臣ノ御所
見ヲ承リタイト在ルノデアリマス、
其次ニ林業會法ニ戻リマスガ、若
シ本法ヲ施行致シマスルトスルナラ
バ、是ハ先日來農林大臣ノ仰シヤル如
ク、強制的ナル所ノ設立ハナ、自主
的ナル設立ト仰シヤレドモガ、若
シ自主的デ之ヲ設立セント致シマス、
ニ於テ、縣縣縣ト致シマシテハ、現在
森聯ガ木材供給關係ヲ廢シテ居ルデ
ハナ、此ノ關係ハナ、ハナ、我々
ハ絕對ニ林業會ヲ作リ、林業會法ニ
依リ所ノ林業會ヲ作リ、ナッタラ、
一體農林大臣ハ如何ニ處置相成ルヤ
尙更ニ表決問題デアリマスガ、
表決ニ付キマシテハ、勿論農林省ト
致シマシテハ、森聯組合ガ
一ダカラ雙方ヨリ同數ノ議員ヲ出シ

テ表決スルト仰シヤレデアリマス、
併シナガラ林業組合ナルモノハ、森聯所
有者ノ何百分ノ一ニ相當シテ居ル、而
モソレハ生活ニ苦勞ヲ與ヘテ居ル、
少數ノ此ノ勢力ヲ助ケテ、多數ノ農
民デアル所ノ森聯所有者ノ壓倒セント
スルガ如キ、同數ナル所ノ議員ヲ以テ
決定サレルトハ、森聯所有者ハ木
材統制會社ト同ジヤナク、要目ニ違
ハナケレバナラヌト云フコトハ、要
致シテ居ルモノデアリマス、此ノ表決
問題ニ付キマシテハ、農林當局ハ如何
ニ御考ヘニナツテ居ラレカ、當局ノ御
所信ヲ御同ニ致シタイノデアリマス、
尙ホ續キマシテ植林問題ニ付テ御
申上ガレカ、戦時非ノ伐採ニ依
ル所ノ植林必要面積ハ、只今百萬歩
位デ、開イテ居リマス、此ノ戰
時非ノ伐採、云フモノハ、國ガ命令ヲ以
テ伐シマス、山デアル、國國家ハ之
ニ續キ、一ハ、伐採ガアル、併シテ
所有者各ハアルノデアリマス、カ
ラ、全國國ガ補助セヨトハ、申シマ
セフ、本年植林ニ對シテ、對シマシ
ニ一町歩、四百四十圓、補助金
見ラシマシテ、四百四十圓、御決定
ニナリマシテ、四百四十圓、補助金
リマシマシテ、四百四十圓、補助金
ヲ表シマシテ、四百四十圓、補助金
ノ補助金、四百四十圓、補助金
ハ、シテ見レバ本年度改定預算ニ於テ
昨年、三百六十圓、補助金、改
メ、四百四十圓、補助金、改
シテモ、尙ホ四百四十圓、補助金
出サナケレバナラヌ、併シテ、現在
ノアノ新國ノ不自出ナル時、於テ、森
林所有者ハ、一町歩、四百四十圓、出ス
ハ出來難、尙ホ加ヘ山、四百四十圓

ハ御承知ノ如ク本年植林ヲ致シマシ
テ、最低二十五年シテハ收入ノア
ルモノデアリマス、隨ヒマシテ此
ノ植林問題ニ付キマシテハ、常ニ思
フ、ガアリマス、ガ、自作農創設ノ如
ク低利長期ノ資金貸付ノ方法、御考
ヘガアルノカ、之ノ付テ大藏
大臣、將來、此ノ計畫ニ付テ詳細ナ
ル御所見ヲ承リタイノデアリマス、
尙ホ此ノ施業計畫ニ付キマシテハ、
一昨、農林大臣、御談、二百四十
萬町歩アル、之ニ對シ、本年、四十
何萬町歩アル、而モ、之ニ對シ、
補助金デアルト仰シヤレマス、ガ、一
體政府ハ現在、苗木、幾ノデアル、勞
働金ハ幾ノ、計算、居ラレ
カ、政府ノ植林ニ對シ、詳細ナル計畫
ヲ、御發表アラシマ、御切、御願
申シ、置キマス、尙ホ、御切、御願
依ツテ農家ハ何メナ受テ、念ヲ深ク致
シマシテ、以テ、一日、速ニ植林ヲ致
サナクチャナラヌト勸メ、植林ニ懸
命ナル努力ヲ致シマス、於テ、初メ
テ此ノ山、植林ヲ致シマス、耕地ニ
最モ必要ナル、水利、便、得ルコト
モ大、又、害、於キマシテ
耕地ヲ荒レタイト云フ所、水害ヲ免
レルコトニモ亦大ナル威力ヲ持ツテ居
ルノデアリマス、是ニ於テ農林大臣ハ
我々、萬ノ農民ヲ、人、觀、シテ
仰、居リ、御、大臣、
ル、ドウ、三千萬、決、此、
三千萬農民ヲ愛ガツテヤル此、心
於、御、御、以、
上、五、點、付キマシテ、御、
御、御、御、
リマス(拍手)

御質問ニ御答ヘ致シマス、此ノ林業會
ガ統制會社ニ結局アルヤウナモノデハ
ナイカト云フ御尋ネデアリマス、ガ、
是ハサウデハアリマス、此ノ林業會
ハ統制會社ノヤウニ一手買取フ行
ハナ、ナイノデアリマス、何處マデモ
森聯所有者ノ團體デアリマス、森聯組
合ト、ソレカラ業者ノ團體デアリマス
ル林業組合トガオ互ニ話合ツテ、
納得、統制會社ニ行カウト云フ
デアリマシテ、木材統制會社ノヤウニ
一手買取販賣アルヤウナ特權ノナ
ノデハナイノデアリマス、隨ヒマシテ
此ノ兩者ハ、本質的ニ違フノデア
スカ、左様ニ御承知御願ヒ致シマ
ス、
ソレカラ戰時中ニ出來マシタ統制會
社、一般ノ廢止ノ問題デアリマス、ガ、
是ハ、私ガ豫算總會ニ於テ、御答ヘ致
シマシタヤウニ、一般論ニシマシ
ハ、統制會社デアアルカト云フ直
發止シロト云フコトハ、即、思
フノデアリマス、ソレ、機、
キマシテハ、ソレ、能、
アリマシテ、其ノ機能ヲ誰ガ行ツタ
ガ國家的ニ見テヨリ良イカト云フ觀
カ、私ハ判斷スベキモノデア、斯
ニ思ヒマス、併シ御指摘ノヤウナ諸
統制會社ニ於キマシテハ、是ハ、私ハ
止スベキモノデア、斯様ニ考ヘテ居
リマス、御、
モノニ於キマシテハ、十分實績ヲ檢
査シマシテ、私ハ廢止スルカ廢止シ
イカ決意致シタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマス、農業會ガソレニ代ツテヨリ
良、
分、
リマス(拍手)

ソレカラ此ノ林業會ニ於キマシテ
ハ、強制的ナル制度ハ、應メテ居リマ
ス、併シ此ノ林業會ノ結成ニ付キマ
シ、森聯所有者ノ方ニ於キマシ
モ、又林業關係業者ノ方ニ於キマシ
モ、要點ガアルノデアリマシテ、我々
其ノ要點ニ應ヘテ是ガ事實相成サレ
コトヲ確信致シテ居リマス、隨ヒマ
シテ若シモドウシテモ結成シナイト云
フコトニナリマス、自主的ニ統
制スルト云フコトハ、其ノ縣デハ
出來ナイノデアリマス、私ハ是ハ日本
ノ木材界及ビ森林業者ノ爲ニ甚ダ悲
ム者デアリマス、民主的ナ政治ニ
マスルナラバ、宜シク自覺ヲ致シマ
シテ、凡ニ總テノ批判ハ批判トシテ、
積極的ニ自主的ニ問題ノ解決ニ乘出
スベキモノデアルト私ハ確信ヲ致シマ
ス(拍手)

ソレカラ林業會ノ總會ニ於ケル表決
權ノ問題デアリマス、ガ、是ハ定款等
規定ニ依ツテ、林業組合側ノ議員ノ森
林組合側ノ議員トハ同數ト致スコト
ニシテ、其ノ間ノ調整ハ圖ツテ行キ
タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

森聯組合ガ生産力ヲ集約、配給マデ
一定的ニ十分實力ヲ持ツテヤリマス
ストニ付キマシテハ、私ハ極メテ喜
ベキコトト思ツテ居リマス、併シ現在
ノ森聯組合ノ總テガサウデアルトハ言
ヘナイノデアリマシテ、此ノ差違ツタ
木材ノ生産、集約、配給ヲヤル爲ニ
ハ、ソレ、
協調ヲ以テ此ノ問題ニ善處シテ行ク
コトヲ適切デアルト考ヘマス、ガ、本
業會法案ニ依ツテ其ノ點ヲ善處セント
シタノデアリマス

ソレカラ政府ノ此ノ新炭買價格ニ

關スル「マージン」ノ問題デアリマス
ガ、是ハ政府ガ買上ゲマシテ、ソレカ
ラ發賣マデニ行キマスル所ノ小運送費
ガ主ナルモノデアリマシテ、此ノ昂騰
ノ爲ニ、特別會計ハ此ノ程度ノ「マー
ジン」ヲ以テシテハ實際經費ノ負擔ガ
困難ナ狀況ナデアリマス、サウシテ
又消費地ニ於ケル燃料配給統制組合ノ
「マージン」モ、亦同様ニ引取配給ノ
小運送費ノ昂騰ノ爲ニ見多額ノ「マー
ジン」ト見ラレマスルガ、併シ之ヲ
以テシテモ中々組合員ノ所得ハ多クナ
イ狀況デアリマシテ、其ノ點ニ付キマ
シテハ政府トシテ十分ニ監督ヲ致シテ
居ルノデアリマス、細カイ數字ニ付キ
マシテハ、私ハ委員會等ニ於テ發表致
シマシテ御檢討ヲ御願ヒ致シタイト思
ヒマス、我々ハ勿論生産者ト云フモノ
ガ國民所得ノ上ニ於キマシテ適正ナル
配分ヲ持ツコトハ此ノ上モナク願フコ
トデゴザイマスルガ、併シ國民經濟ハ
單ニ生産者ノミナラズ、又配給者、消
費者ノ全體ガ形成致シテ居ルノデゴザ
イマスルガ故ニ、是ガ循環ヲ圓滑ナラ
シメマスル爲ニハ、ソレノノ分野ニ
於テ其ノ機能ニ從ツテ、適正ナル所得
ヲ各々ガ得テ圓滿ニヤツテ行クコトガ
一番宜イト思フノデアリマス、勿論中
間ノ業者ガ生産者ヲ搾取スルガ如キコ
トガアリマスルナラバ、監督官廳デア
ル我々ト致シマシテハ十分其ノ點ヲ注
意致ス考ヘデ居ルノデアリマス、以上
大體御答ヘ致シマス

○伊藤實雄君 農林大臣ノ御答辭ニ對
シマシテハ、私合點ノ行カヌ點ガアリ
マスルカラ、是ハ委員會ニ於テ御尋ネ
テ申上ゲマス、但シ植林事業ニ對シマ
スル所有者負擔ノ莫大ナ金額ヲ長期低
利ノ貸付方法、金融面ニ付テ大蔵大臣

ノ御所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス——大
藏省ノ政府委員ハイラツシヤイマセヌ
カ

○議長(樋貝詮三君) 居リマス——上
塚政府委員

(政府委員上塚司君登壇)

○政府委員(上塚司君) 植林ガ刻下喫
緊ノ事業デアリマスルコトハ言フ俟タ
ナイ所デアリマス、之ニ關シマシテハ
農林當局ニ於テ十分ノ努力ヲ致シテ居
ラレルコトデアリマス、而シテ只今御
尋ネノ長期貸付ノコトニ付キマシテハ
既ニ農林方面ニ關スル金融機關、即チ
勸銀、農林中央金庫等ノ機關ガアリマ
シテ、之ヲ通ジテ出來ルダケ御趣旨ニ
副フヤウニ致シタイト思フ次第デアリ
マス

○伊藤實雄君 以上デ終リマス

○議長(樋貝詮三君) 是ニテ質疑ハ終
了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベ
キ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○山口喜久一郎君 本案ハ議長指名二
十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望
ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○山口喜久一郎君 殘餘ノ日程ヲ延期
シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ
望ミマス

マス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時九分散會

